SONY

4-251-512-**02**(1)

マイクロハイファイ
コンポーネントシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CMT-SE3

目次

故障かな？と思ったら

その他

ステレオを聞くときのエチケット



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、となり近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。
窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件にしたがって修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この取扱説明書の使いかた

- この取扱説明書では、主にリモコンによる操作を説明していますが、本体の同じ、または類似した名前のボタンを使っても同様の操作ができます。
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
DVD	DVDで使える機能です。
VIDEO CD	ビデオCDで使える機能です。
CD	CDで使える機能です。
SA-CD CD	音楽用CDまたはスーパーオーディオCDで使える機能です。
MP3	MP3*で使える機能です。
JPEG	JPEG画像で使える機能情報です。

* MPEG1 Audio Layer3：MPEGによって規定された音声のデジタル圧縮規格のひとつです。

再生できるディスクについて

本機では次のディスクを再生できます。次のディスク以外は再生できません。

再生できるディスクの一覧

ディスクの種類	ディスクに付いているマーク（ロゴ）
DVDビデオ	DVD VIDEO
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / VIDEO CD
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT
スーパーオーディオCD	SUPER AUDIO CD
CD-R/CD-RW（音楽データ、MP3ファイル、JPEGファイル）	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable / COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable / COMPACT disc Recordable / COMPACT disc ReWritable

“ DVD VIDEO ” ロゴは商標です。

本機はNTSCカラーテレビ方式に対応しています。NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のディスクは再生できません。

再生可能なDVDの地域番号（リージョンコード）について

DVDには 2 のように地域番号が表示されているものがあります。表示中の数字は再生できるプレーヤーの地域番号を表わしています。この表示に「2」が含まれていない、または ALL の表示のないDVDは、本機で再生できません。このようなDVDを再生しようとしたときは、「このディスクは地域制限により再生を禁止されています」と画面に表示されます。また地域番号の表示がないDVDでも地域制限されている場合があり、本機で再生できないことがあります。

DVDに表示されているマークの説明

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには以下のようなものがあります。それぞれのマークはそのディスクに記録されている内容や、使える機能を表しています。
ただし、それらの機能が使えても、以下のマークが表示されていないDVDもあります。

マーク	意味
3	音声のトラック数を表します。
2	字幕の数を表します。
3	アングル数を表します。
16:9 LB	選択可能な画像のたて横比を表します。
2	再生可能な地域番号を表します。

次のページへつづく

再生できないディスクについて

本機では次のディスクなどを再生できません。

- CD-ROM（拡張子「.MP3」、「.JPG」または「.JPEG」が付いたファイルを除く）
- CD-R/CD-RW
  ただし、以下のフォーマットで記録したCD-R/CD-RWは再生できます。
  ー音楽用CDフォーマット
  ービデオCDフォーマット
  ーISO9660*1レベル1/レベル2/Joliet/マルチセッション*2準拠のMP3、JPEGファイル
- CD-EXTRAのデータ部分
- スーパーオーディオCDのEXTRAデータ部分
- DVD-ROM、DVD-RAM
- DVDオーディオ
- VRモードで記録されたDVD-RW
- 本機では再生できない地域番号（リージョンコード）のDVD
- MP3PROで記録されたMP3ファイル
- NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のディスク（本機がNTSCカラーテレビ方式対応のため）
- 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型など）をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるディスク
- 市販されているシールやリングなどのアクセサリーを取りつけたディスク
- 8cmディスクを標準ディスクに変換するアダプターを使用したディスク

*1ISO9660フォーマット
国際標準化機構（ISO）が制定したCD-ROMの論理フォーマット。
数段階の交換レベルが設けられています。
Level1では、ファイル名が8.3形式（ファイル名は最大8文字、「.MP3」や「.JPG」などの拡張子は最大3文字まで）で、すべて大文字を使うという制約があります。また、フォルダ名も最大8文字まで、フォルダの階層は8までという制約もあります。Level2ではファイル名、フォルダ名の長さの制約が31文字にまで緩和されています。
Jolietでは最大64文字までのファイル名、フォルダ名を利用することができます。

*2マルチセッション
1枚のCDに複数のセッションを記録することができる記録方式。
従来のCDが「リードイン～データ～リードアウト」で構成されるセッションを1つしか持たないのに対し、マルチセッションCDは、複数のセッションを持っています。
CD-EXTRA：第1セッションに音声データを、第2セッションにコンピュータ用のデータを収録します。

CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWについてのご注意

- 本機はお客様が編集したCD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW（Ver.1.1）/DVD+R/DVD+RWディスクに再生対応しています（DVD-R/DVD-RW（Ver.1.1）/DVD+R/DVD+RWはビデオモードのみ）。ただし、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をしていないCD-RおよびCD-RWディスクは再生できません。
- 拡張子「.MP3」が付いていないMP3形式のファイルは、再生できないことがあります。
- MP3形式以外のファイルに拡張子「.MP3」が付いていると、そのファイルを再生してしまうため、雑音や故障の原因となります。
- MP3音声とJPEGファイルがアルバムに記録されていないときはスキップします。
- 拡張子「.JPG」または「.JPEG」が付いていないJPEG形式のファイルは、再生できないことがあります。
- プログレッシブJPEG形式のファイルは再生できません。
- 縦が1ドットのJPEG画像は表示できません。
- 縦または横が4720ドット以上のJPEG画像は表示できません。
- アルバムの最大数は99です（MP3、JPEGアルバムに記録されるトラック数の最大数は250です）。
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。

マルチセッションについて

- 本機ではマルチセッションで記録したディスクも再生できます。
  記録方式について詳しくは、CD-R/CD-RWドライブまたは書き込み用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- MP3音声がディスクの最初のセッションに記録されているときは、その他のセッションのMP3音声も再生します。
- JPEG画像がディスクの最初のセッションに記録されているときは、その他のセッションのJPEG画像も再生します。
- 音楽用フォーマットまたはビデオCDフォーマットで記録したディスクの音声や画像が最初のセッションに記録されているときは、最初のセッションだけを再生します。

CD再生時のご注意

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生･録音できない場合があります。

DTS*音声再生時のご注意

DVDやCDのDTS Digital Surroundは2チャンネルにダウンミックスして再生されます。DTS Digital Surroundの再生を5.1チャンネルでお楽しみいただくには、本機のデジタル出力に5.1チャンネルの外部DTS Digital Surroundデコーダーを接続する必要があります。

* Digital Theater Systems, Inc.からの実施権に基づき製造されています。DTSおよびDTS 2.0 + Digital OutはDigital Theater Systems, Inc.の商標です。

DVD、ビデオCD再生操作について

DVD、ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

著作権について

本機は、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンの許諾が必要であり、マクロビジョンが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

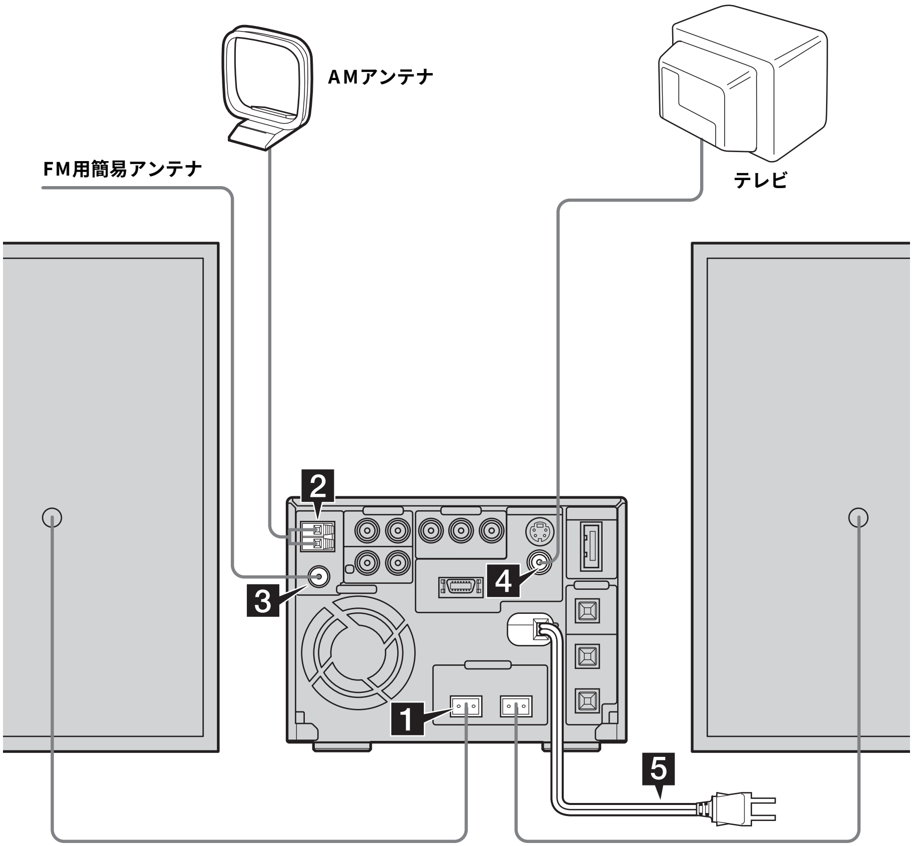
本機はドルビーデジタルデコーダーを搭載しています。
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

準備1：本機をつなぐ

付属のアンテナやコードを1～6の順につなぎます。

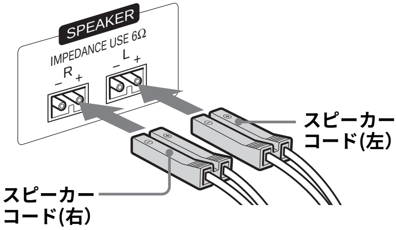
付属のアンテナは室内用です。安定した受信のためには市販の外部アンテナの接続をおすすめします。

外部アンテナを含め、別売り機器の接続については、60ページをご覧ください。



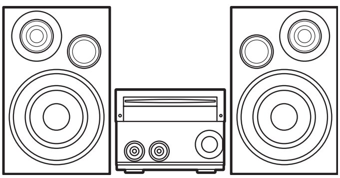
1 スピーカーコードをつなぐ

本機のスピーカー端子に、スピーカーコードをつなぐ。



ご注意

- スピーカーコードはアンテナから離してください。ラジオ局受信時の雑音の原因になります。
- 右端子につないだスピーカーを向かって右へ、左端子につないだスピーカーを左へ置いてください。

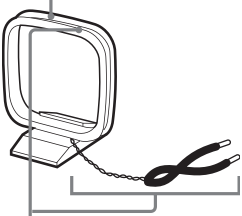


- お手持ちのフロントスピーカーの最大入力レベルが低い場合、過大入力にならないように本機の音量を調節してください。

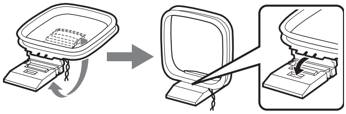
ちょっと一言

フロントスピーカーを床より高い位置に設置するときは、スピーカースタンドWS-MC1（別売り）を使うと便利です。

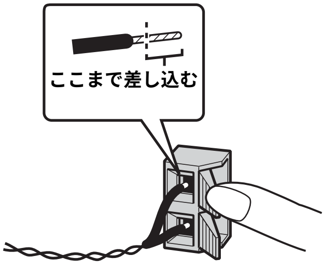
2 AMアンテナをつなぐ



1 ループ（∞∞∞）になっている部分のみをプラスチックスタンドからはずす。
2 スタンド状に組み立てる。
台を起こし、溝にはめます



3 AMアンテナ端子にアンテナコードをつなぐ。

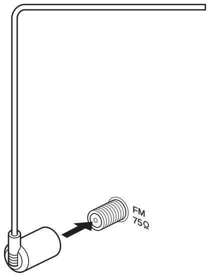


4 アンテナコードを軽く引いてみて、しっかり接続されたことを確認する。
アンテナコードが端子から抜けてしまったときは、もう一度つなぎ直してください。

次のページへつづく

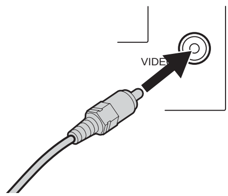
3 FMアンテナをつなぐ

FMアンテナ端子をつなぐ



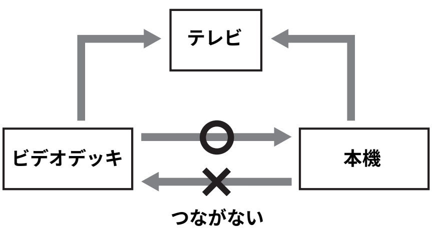
4 テレビとつなぐ

映像接続コードを、本機のMONITOR OUT VIDEO端子（黄）とテレビの映像入力端子（黄）につなぐ。プラグは奥までしっかりと差し込んでください。



ビデオデッキをつなぐときは

下記のようにテレビとビデオデッキを、映像・音声コード（別売り）を使ってつないでください。



ビデオデッキを経由して本機の映像を見ると、映像が乱れることがあります。ビデオデッキを経由して本機とテレビをつながないでください。
また、本機とビデオ一体型テレビをつないだ場合にも、映像が乱れることがあります。

ご注意
本機の上にテレビを置かないでください。

ちょっと一言
- D映像入力端子付きのテレビをお使いのときは、D映像コード（別売り）を使ってつなぐと、映像本来の色が楽しめます。プログレッシブ方式に対応したテレビとこの接続をしたときは「テレビの画面を調節する （画面設定）」（32ページ）で「コンポーネント出力」を「プログレッシブ」に設定してください。
- S映像入力端子付きのテレビをお使いのときは、S映像コード（別売り）を使ってつなぐと、鮮明な画像が楽しめます。
- 外部の映像機器をVIDEO/SAT IN端子につないだ場合は、MONITOR OUT VIDEO端子（黄）からのみ映像が出力されます。

5 電源コードをつなぎ、I/⏻（電源）を押して電源を入れる

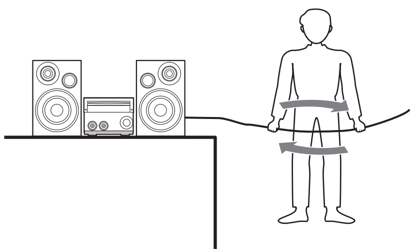
すべての接続を終えたら、壁のコンセントへ電源プラグを差し込みます。

ご注意
本機の電源を入れた後、表示窓に「No Disc」が表示されるまでディスクは引き込まれません。「No Disc」が表示されるまでは、ディスクを無理に押し込まないでください。「No Disc」が表示される前にディスクを無理に押し込むと、本機の故障の原因になることがあります。

6 FMアンテナをはる

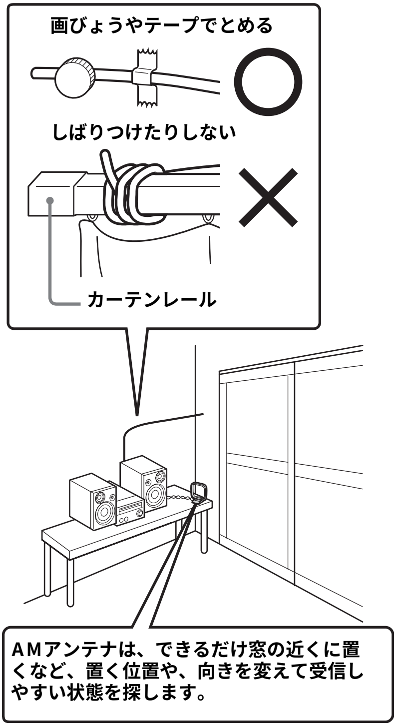
「手動受信してプリセットする」（43ページ）の手順3でFM局を選んで受信した後、次のようにアンテナを壁や天井にはってください。

1 両手でアンテナの先を持ち、体の向きを変えながら受信状態のよい向きを探す。



壁にはるときは、受信状態のよい壁面を探してください。

2 方向が決まったら、画びょうやテープではりつける。

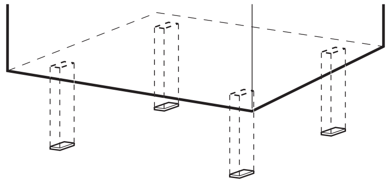


設置時のご注意

- 付属のアンテナは全体で受信しています。まっすぐに伸ばした状態が最も良い受信状態となりますので、余分に感じる部分も巻き取ったりせず、そのまま垂らしてお使いください。
- アンテナはできるだけスピーカーコードから離してください。ラジオ受信時の雑音の原因になります。
- 付属のアンテナは簡易アンテナです。窓の近くや窓の外に置くなどして、できるだけ受信状態のよい場所に設置してください。また、鉄骨造りのマンションなどの場合、付属のアンテナでは十分に受信できないことがあります。置き場所を変えても受信状態がよくならないときは、市販の外部アンテナの使用をお勧めします（64ページ）。

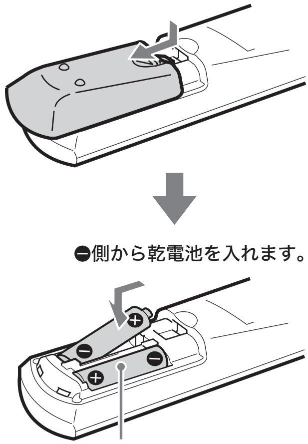
スピーカーパッドを取り付ける

付属のスピーカーパッドをスピーカーの底に取り付けます。スピーカーのぐらつきを抑え、すべらないようにします。



リモコンに電池を入れる

必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。



ご注意

- 乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
  - ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
  - 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
  - 液もれしたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部*に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

* リモコン受光部の位置は、86ページを参照してください。

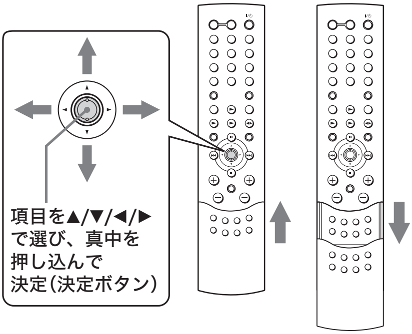
次のページへつづく

ちょっと一言

電池の交換時期は約6か月です。リモコンを本体に近づけないと操作しづらくなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。

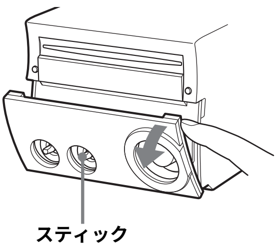
リモコンの使い方

- ▲/▼/◀/▶で項目を選び、真中を押し込んで決定します。
  この取扱説明書では、「真中を押し込んで決定」する操作を、「決定ボタンを押す」と表現しています。
- フタは通常閉じて使います。フタの内部のボタンを操作するときのみ開きます。



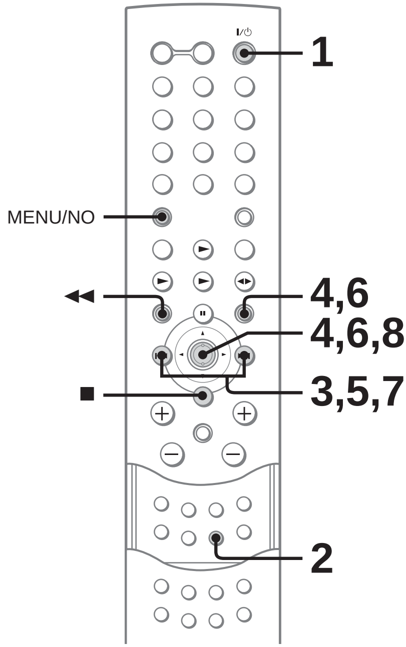
本体のフタの開け方

フタの上端を手前に引いて開けます。



準備2：時計を合わせる

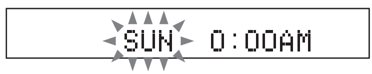
再生タイマーなどのタイマー機能を使うためにも、あらかじめ時計を合わせておきます。



1 電源を入れる

2 時計/タイマーの設定ボタンを押す

時計が表示され、「曜日」が点滅します。



3 I◀◀ または▶▶Iを押して、「曜日」を合わせる

4 決定ボタンまたは▶▶を押す

「時」と「AM」が点滅します。

5 I◀◀ または▶▶Iを押して、「時」を合わせる

正午は0:00PM、真夜中は0:00AMです。

6 決定ボタンまたは▶▶を押す

「分」が点滅します。

7 I◀◀ または▶▶Iを押して、「分」を合わせる

8 決定ボタンを押す

時計が動き始めます。

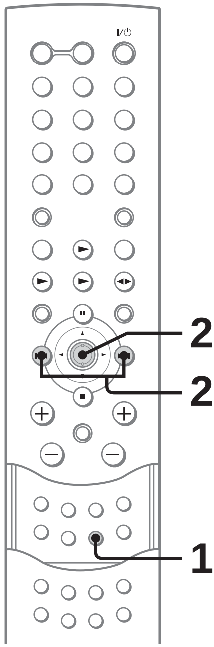
設定を途中でやめる

MENU/NOまたは■を押す。

設定の途中で間違えたときは

◀◀または▶▶をくり返し押して、変更したいところ（曜日、時、分）を点滅させ、合わせ直す。

設定した時刻を変更する



1 時計/タイマーの設定ボタンを押す

2 I◀◀ または▶▶Iをくり返し押して「CLOCK SET?」を表示させ、決定ボタンを押す

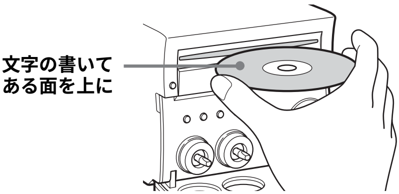
3 「時計を合わせる」の手順3～8を行う

DVD・ビデオCD・CD・
スーパーオーディオCD・
MP3・JPEG ― 再生

ディスクを入れる

ディスクを入れる

自動的にディスクが引き込まれるまでディスクを押し込んでください。



ご注意

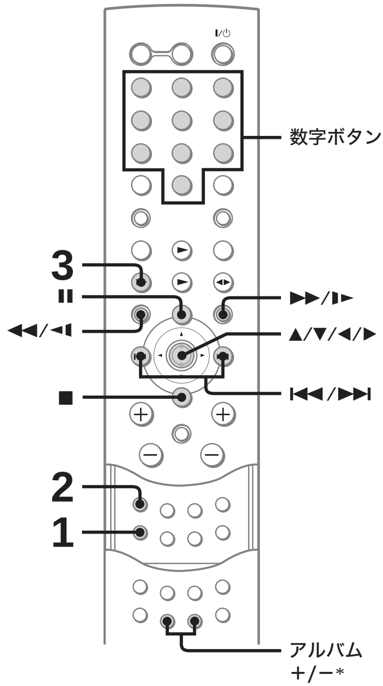
- 本機の電源を入れた後、表示窓に「No Disc」が表示されるまでディスクは引き込まれません。「No Disc」が表示されるまでは、ディスクを無理に押し込まないでください。
- 中古ディスク/レンタルディスクで、シールなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるディスクは使わないでください。ディスクが取り出せなくなったり、本機の故障の原因になることがあります。

ディスクを再生する

(ノーマル/シャッフル)

DVD　VIDEO CD　SA-CD CD　MP3　JPEG

DVDやビデオCD、JPEGを再生する場合は、あらかじめテレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えでディスクの映像が映るようにしてください。
ディスクによっては、テレビ画面にメニューが表示される場合があります。そのときは、表示されたメニュー画面（選択画面）の操作にしたがって再生します。操作のしかたについてはDVD（17ページ）、ビデオCD（18ページ）をご覧ください。
ディスクにより異なる操作や禁止されている操作があります。ディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。



* リモコンのフタを閉じて操作します。

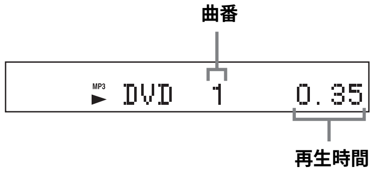
DVDを入れたときの表示例



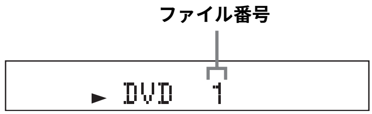
スーパーオーディオCDを入れたときの表示例



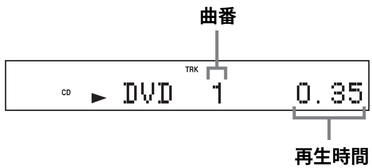
MP3のディスクを入れたときの表示例



JPEGのディスクを入れたときの表示例



CDやビデオCDを入れたときの表示例



1 FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをDVDに切り換える

2 停止中に再生モードボタンをくり返し押して、好きな再生モードを選ぶ

こんなときは	表示（再生モード）
ディスク通りの曲順で再生する	表示なし（ノーマル）
MP3またはJPEGのアルバム内に限って再生する	ALBM（アルバム） MP3またはJPEG以外のディスクではノーマル再生になります。
曲順を変えて再生する*	SHUF（シャッフル）
MP3のアルバム内で曲順を変えて再生する	ALBM SHUF（アルバムシャッフル） MP3以外のディスクではシャッフル再生になります。
好きな曲順に再生する*	PGM（プログラム） 「好きな順に再生する」（21ページ）をご覧ください。

* DVDとJPEGはシャッフル再生およびプログラム再生できません。

3 SA-CD/DVD►を押す

ご注意

- 再生中に再生モードボタンを押しても、再生モードは変えられません。
- 他のファンクションに切り換えたときは、ディスクが入っていなくても、DVDインジケーターが表示されることがあります。
- 多くの階層や複雑な構成で記録したディスクは再生開始までに時間がかかることがあります。
- ビットレートがVBR（Variable Bit Rate）のMP3を再生した場合には、再生経過時間が正確に表示されないことがあります。

次のページへつづく

ちょっと一言

- 他の音源を聞いていても、ディスクが中に入っているときにSA-CD/DVD►を押すと、ファンクションがDVDに切り換わって再生が始まります（オートファンクション）。
- テレビ画面を使って再生モードを切り換えることもできます。
  1 停止中にDVD画面表示ボタンを押す。
  2 ▲/▼を押して「プレイモード」を選び、決定ボタンを押す。
  3 ▲/▼を押して再生したいモードを選び、決定ボタンを押す。

その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	■を押す。
一時停止する（JPEG以外）	❚❚を押す。もう一度押すと、再生を再開します。
再生中にチャプターや映像、トラックを選ぶ	⏮ または⏭をくり返し押す。
MP3またはJPEGのアルバムを選ぶ	手順2の後、アルバム＋または－をくり返し押す。
再生したい部分を探す（サーチ）*1（MP3以外）	本体のSA-CD/DVDスティックを⏮ または⏭方向に長押しします。
速度をかえて再生したい部分を探す（スキャン）*1、2（MP3以外）	再生中に◀◀または▶▶を押す。くり返し押すと早送り/早戻しの速度が変わります。再生したい部分でSA-CD/DVD►を押すと通常の再生に戻ります。
スロー再生する*2（DVD、ビデオCDのみ）	一時停止中に◀❚ または❚▶を押す。くり返し押すと再生の速度が変わります。SA-CD/DVD►を押すと通常の再生に戻ります。
スライドショー（順方向のみ可能）を始める（JPEGのみ）	静止画の再生中に▶▶を押す。くり返し押すと表示間隔が変わります。SA-CD/DVD►を押すと、静止画表示に戻ります。
静止画を回転させる*3（JPEGのみ）	◀または▶をくり返し選ぶ。▶を選ぶたびに、画像が時計回りに90°回転します。◀を選ぶたびに、画像が時計回りと逆回りに90°回転します。
ディスクを取り出す	本体の⏏DVDを押す。ディスクが出てきた後、本体から引き抜いてください。表示窓に「No Disc」と表示されます。

*1 サーチ中、スキャン中は再生している音を聞くことはできません。
*2 DVD、ビデオCDによって操作が禁止されている場合があります。ディスクのタイプによって選べる速さの種類が異なります（CD、スーパーオーディオCDは1種類のみ）。また、ビデオCDでは、逆方向のスロー再生はできません。
*3 スライドショー表示中は操作できません。SA-CD/DVD►を押して静止画表示に戻してから操作します。

ご注意

DVDの再生を一時停止したまま何も操作せずに約1時間が経過すると、本機の電源は自動的に切れます。

ちょっと一言

MP3ファイルとJPEGファイルが混在するデータCD（CD-ROM/CD-R/CD-RW）ディスクを再生するときは、データCD優先モード（29ページ）を設定してください。

再生を止めたところから再生する（リジューム再生）（JPEG以外）

再生を止めた後、そのつづきから再生できます。ディスクを取り出さない限り、本機が節電モードになってもリジューム再生が働きます。

1. ディスクの再生中、■を押して、再生を止める。
   表示窓に「RESUME」と表示されます。
   「RESUME」が表示されないときはリジューム再生はできません。
2. SA-CD/DVD►を押す。
   手順1で再生を止めたところから、再生が始まります。

ご注意

- 再生モードがシャッフルまたはプログラムのとき、リジューム再生できません。
- 再生を止めたところによっては、リジューム再生の始まりがずれることがあります。
- 次の場合、再生を止めたところの記録は消え、リジューム再生できません。
  ー ディスクを取り出したとき
  ー 再生モードを変えたとき
  ー DVD設定ボタンを使って設定を変更したとき

ちょっと一言

ディスクを最初から再生したいときは、■を2回押してから、SA-CD/DVD►を押します。

数字ボタンを使って曲番を選ぶ

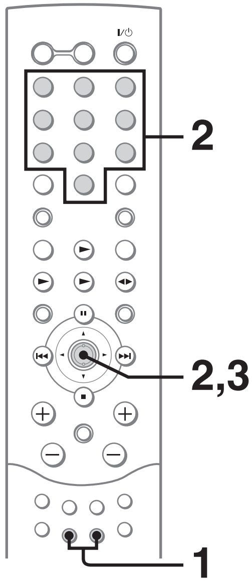
再生モードがノーマルのとき、曲番の数字を選んでから決定ボタンを押すと自動的に再生が始まります。

DVDに記録されているメニューを使う

DVD

DVDには、DVD独自のメニューが記録されているものがあります。テレビ画面に表示されるメニューを使って再生できます。

- **DVDトップメニューを使う**
  複数のタイトル（映像や曲）が記録されているDVDを再生するときは、好きなタイトルを選べます。
- **DVDメニューを使う**
  ディスクの内容をメニューで選択できるDVDを再生するときは、再生したい項目や字幕の言語、音声の言語などをDVDメニューで選べます。



1 トップメニューボタンまたはDVDメニューボタンを押す

本機に接続されたテレビにメニューが表示されます。メニューの内容はDVDにより異なります。

次のページへつづく

2 再生したい項目を▲/▼/◀/▶または数字ボタンで選ぶ

3 決定ボタンを押す

ご注意

DVD再生中に、DVDトップメニューまたはDVDメニューを表示したまま何も操作せずに約1時間が経過すると、本機の電源は自動的に切れます。

ビデオCDのプレイバックコントロール機能を使う

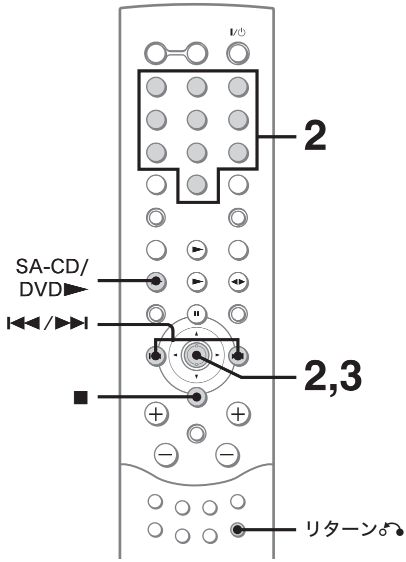
（PBC再生）

VIDEO CD *（バージョン2.0）*

PBC*機能を使って、対話型の操作や検索などができます。

PBC再生とは、テレビ画面に表示されるメニューを使って、再生をすることです。

* PBCはPlayback（プレイバック） Control（コントロール）の略です。



1 PBC対応ビデオCDを再生する

本機に接続されたテレビに選択用のメニュー画面が表示されます。

2 メニュー画面で行いたい（再生したい）項目の番号を▲/▼または数字ボタンで選ぶ

3 決定ボタンを押す

4 テレビ画面に表示される選択用のメニュー画面などにしたがって、操作する

操作のしかたはディスクによって異なることがありますので、ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。

選択用のメニュー画面に戻る

リターン⤺を押す。

ご注意

ディスクによっては手順3で決定ボタンを押すことを「選択ボタンを押す」と表示するものがあります。そのときは、SA-CD/DVD►を押してください。

ちょっと一言

PBC機能を使わないで再生することもできます。
1 停止中に⏮/⏭または数字ボタンを押して再生したいトラックを選ぶ。
2 SA-CD/DVD►または決定ボタンを押す。
「PBCを切って再生します」が表示され、ノーマル再生が始まります。
選択用のメニューなどの静止画は再生できません。
PBC再生に戻すには、■を押して再生を止めた後、もう一度■を押してからSA-CD/DVD►を押します。

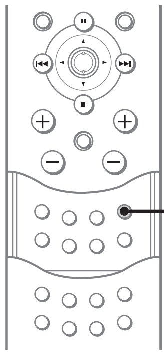
くり返し再生する

(リピート)

DVD VIDEO CD SA-CD CD MP3 JPEG

ディスクのすべてのタイトルやトラック、ファイル、または1つのタイトルやチャプター、トラックをくり返し再生できます。

本機の表示窓を使ってリピート再生する


リピート

再生中にリピートボタンをくり返し押して「REP」または「REP1」を表示させる

REP： 再生中のディスク全体または再生中のアルバム全体*1をくり返します（5回まで）。

REP1：ビデオCD/CD/スーパーオーディオCD/MP3のときは、再生中の1曲だけをくり返します。DVDのときは、再生中の1つのタイトルまたはチャプターだけをくり返します*2。

*1 MP3、JPEGのみ
*2 タイトルまたはチャプターのどちらをリピート再生しているかは、テレビ画面で確認することができます。

次のページへつづく

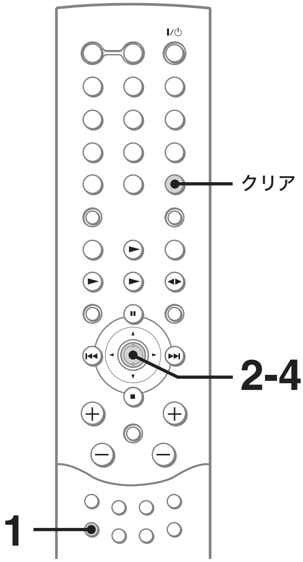
リピート再生をやめる

リピートボタンをくり返し押して、「REP」または「REP1」を消す。

ご注意

- DVDによってはリピート再生できない場合があります。
- ビデオCDのPBC再生では、リピート再生できません。
- プログラム再生中は、REP1は選択できません。

テレビ画面を使ってリピート再生する



1 再生中にDVD画面表示ボタンを押す

本機に接続されたテレビにコントロールメニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼で「リピート」を選び、決定ボタンを押す

「リピート」の設定項目が表示されます。

リピート設定で「切」以外を選んでいるときは、 アイコンが緑色に点灯します。

3 ▲/▼で項目を選ぶ

下線の項目は、お買い上げ時の設定です。

DVDのとき

- 切：リピート再生をオフにします。
- 全部：すべてのタイトルをくり返し5回再生します。
- タイトル：再生中のタイトルをくり返し再生します。
- チャプター：再生中のチャプターをくり返し再生します。

ビデオCD/CD/スーパーオーディオCD/MP3のとき（プログラム再生が「切」のとき）

- 切：リピート再生をオフにします。
- 全部：すべてのトラックまたは再生中のアルバム（MP3のみ）をくり返し5回再生します。
- トラック：再生中のトラックをくり返し再生します。

JPEGのとき

- 切：リピート再生をオフにします。
- 全部：すべてのファイルまたは再生中のアルバムをくり返し5回再生します（スライドショー再生中のみ）。

プログラム再生をしているとき

- 切：リピート再生をオフにします。
- 全部：プログラム再生をくり返し5回再生します。

4 決定ボタンを押す

リピート再生が始まります。

ノーマル再生に戻す

手順3で「切」を選ぶ、またはクリアボタンを押す。

画面表示を消す

DVD画面表示ボタンを押す。

ご注意

- ディスクを取り出すとリピート再生は解除されます。
- DVDによっては、リピート再生できない場合があります。
- ビデオCDのPBC再生では、リピート再生できません。

ちょっと一言

停止中にリピート再生を設定できます。リピートボタンで項目を選び、SA-CD/DVD►を押します。リピート再生が始まります。

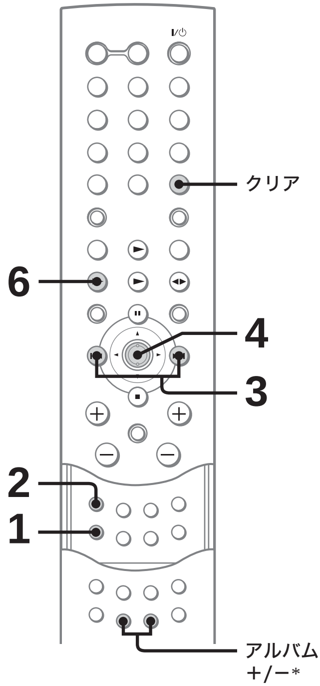
好きな順に再生する

（プログラム）

VIDEO CD　SA-CD CD　MP3

最大25個のトラック（曲）を選んでプログラムできます。

本機の表示窓を使ってプログラムする



* リモコンのフタを閉じて操作します。

1　FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをDVDに切り換える

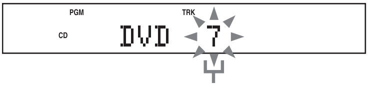
DVD・ビデオCD・CD・スーパーオーディオCD・MP3・JPEG — 再生

次のページへつづく

2 停止中に再生モードボタンをくり返し押して、「PGM」を表示させる

3 ⏮または⏭をくり返し押して、プログラムしたいトラックを選ぶ

MP3をプログラムするときはアルバム＋または－をくり返し押してアルバムを選んだ後、⏮または⏭をくり返し押してトラックを選びます。

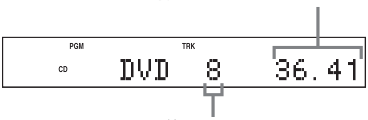


選んだトラック

4 決定ボタンを押す

トラックが選んだ順にプログラムされます。
何ステップ目にプログラムされたかが表示された後、最後にプログラムしたトラック番号が表示されます。

合計再生時間（MP3を除く）



最後のトラック

5 続けてプログラムするときは、手順3、4をくり返す

6 SA-CD/DVD►を押す

プログラムした順に再生が始まります。

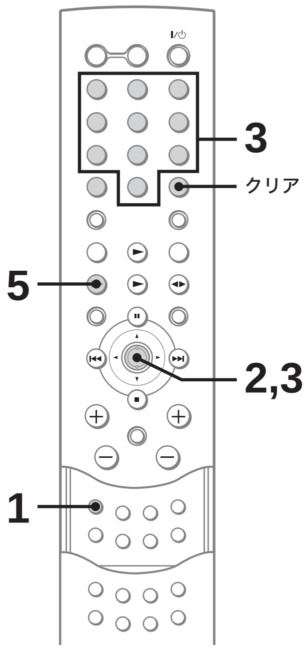
その他の操作

こんなときは	操作
ノーマル再生に戻す（ノーマル）	停止中に再生モードボタンをくり返し押して、「SHUF」や「PGM」、「ALBM」を消す。
プログラムの最後に曲を追加する	停止中に手順1～4を行う。
プログラムを消す	手順4の後でクリアボタンを押す。押すたびに最後にプログラムした曲が消えます。

ちょっと一言

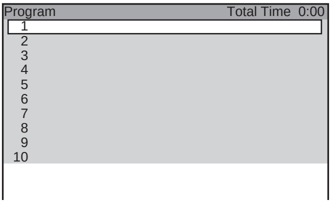
プログラム再生が終わっても、プログラムは残っています。SA-CD/DVD►を押すと、同じプログラムを再生できます。ただし、ディスクを取り出すとプログラムは消えます。

テレビ画面を使ってプログラムする



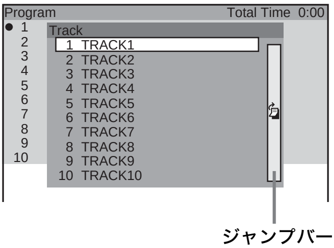
1 再生モードボタンをくり返し押して、「プログラム」を表示させる

本機に接続されたテレビにプログラム画面が表示されます。



2 ▶を選ぶ

プログラム1が選ばれます。



トラックのリストが一度に表示できない場合は、ジャンプバーが表示されます。▶でジャンプバーを選択します。▲/▼でジャンプバーをスクロールして、残りのリストを表示させることができます。
ジャンプバーからリストに戻るときは◀を選びます。

3 プログラム再生したいトラックを設定する

ビデオCD/CD/スーパーオーディオCDのとき

例）トラック「2」を設定する。
▲/▼または数字ボタンで「2」を選び、決定ボタンを押す。

MP3のとき

例）アルバム「2番目」のトラック「3」を設定する。
▲/▼でアルバム「2番目」を選び、▶を選ぶ。
▲/▼または数字ボタンで「3」を選び、決定ボタンを押す。
アルバム選択に戻るときは◀を選びます。



＊ MP3をプログラムすると、「ーー :ーー」と表示されます。

4 続けて再生するトラックを設定したいときは、手順3をくり返す

トラックが選んだ順に表示されます。

5 SA-CD/DVD►を押す

プログラムした順に再生が始まります。
プログラム再生が終わっても、もう一度SA-CD/DVD►を押すと同じプログラムを再生できます。

次のページへつづく

設定したプログラムを消す

手順3の後でクリアボタンを押す。押すたびに最後にプログラムしたトラックが消えます。

ノーマル再生に戻す

再生モードボタンをくり返し押して、「コンティニュー」を表示させる。

ちょっと一言

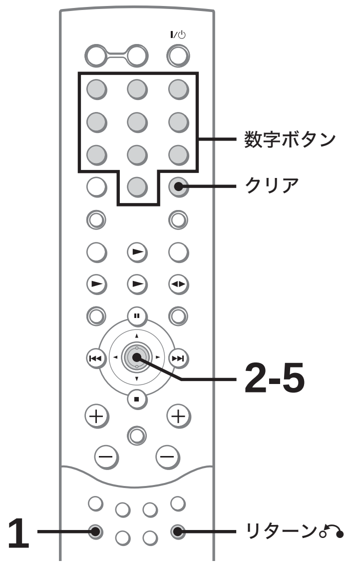
設定したプログラムでリピート再生もできます。プログラムを再生中に、リピートボタンを押します。またはプログラム再生中に、コントロールメニュー画面で「リピート」を「全部」にします（20ページ）。

タイトルやチャプター、トラック、インデックス、アルバム、ファイルを使って頭出しする

DVD VIDEO CD SA-CD CD MP3 JPEG

タイトル（DVD）、チャプター（DVD）、トラック（CD、ビデオCD、スーパーオーディオCD、MP3）、インデックス（ビデオCD、スーパーオーディオCD）、アルバム（MP3、JPEG）、ファイル（JPEG）で映像や曲を探すことができます。

タイトル、トラック、アルバム、ファイルには名前が付けられているので、コントロールメニュー画面からその名前を選んで頭出しします。また、チャプターとインデックスには番号が付けられているので、その番号を入力して頭出しします。また、経過時間をタイムコードで入力して場面を探すこともできます（タイムサーチ）。



タイトル/トラック/アルバム/ファイルを使って頭出しする

1　DVD画面表示ボタンを押す

本機に接続されたテレビにコントロールメニュー画面が表示されます。

2　▲/▼で検索項目を選ぶ

DVDのとき

「タイトル」を選ぶ。

ビデオCDのとき

「トラック」を選ぶ。

CD/スーパーオーディオCDのとき

「トラック」を選ぶ。

MP3のとき

「アルバム」または

「トラック」を選ぶ。

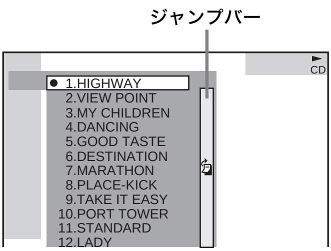
JPEGのとき

「アルバム」または

「ファイル」を選ぶ。

3　決定ボタンを押す

ディスクの内容がリスト表示されます。



アルバムまたはトラックのリストが一度に表示できない場合は、ジャンプバーが表示されます。▶でジャンプバーを選択します。▲/▼でジャンプバーをスクロールして、残りのリストを表示させることができます。
ジャンプバーからリストに戻るときは◀を押します。

4　▲/▼でタイトルなどの番号を入力する

5　決定ボタンを押す

選んだ場所の再生が始まります。

チャプター /インデックスを使って頭出しする

1　DVD画面表示ボタンを押す

本機に接続されたテレビにコントロールメニュー画面が表示されます。

2　▲/▼で検索項目を選ぶ

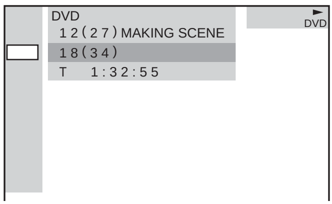
DVDのとき

「チャプター」を選ぶ。

ビデオCDのとき

「インデックス」を選ぶ。

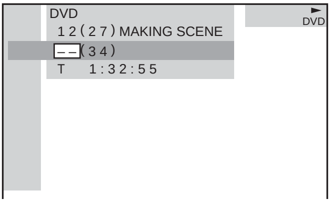
例）「チャプター」を選んだとき
「＊＊（＊＊)」(「現在選んでいるチャプター番号（チャプターの総数)」）が選ばれます。



次のページへつづく

3 決定ボタンを押す

「＊＊（＊＊)」が「ーー（＊＊)」に変わります。



4 ▲/▼または数字ボタンでチャプターまたはインデックスの番号を入力する

間違えたときは、クリアボタンを押して数字を消してから入力し直します。

5 決定ボタンを押す

選んだ場所の再生が始まります。

画面表示を消す

DVD画面表示ボタンを押す。

選択を途中でやめる

リターン↶を押す。

タイムコードを入力して場面を探す（タイムサーチ）

例）DVDのタイトル経過時間を探す。

1 手順2で「時間」を選ぶ。
「T ＊＊:＊＊:＊＊」（現在のタイトルの経過時間）が選ばれます。

2 決定ボタンを押す。
「T ーー:ーー:ーー」が「T ＊＊:＊＊:＊＊」の上に表示されます。

3 数字ボタンでタイムコードを入力し、決定ボタンを押す。
例えば、始まりから2時間10分20秒過ぎた場面を探すには、2:10:20と入力します。

ご注意

- タイトルやチャプター、トラックの番号はディスク上に記録されている番号と同じように表示されます。
- ビデオCDのシーンを探すことはできません。
- DVDのときは、タイトルの経過時間を入力します。ビデオCD、CD、スーパーオーディオCD、MP3のときは、トラックの経過時間を表示します。

ちょっと一言

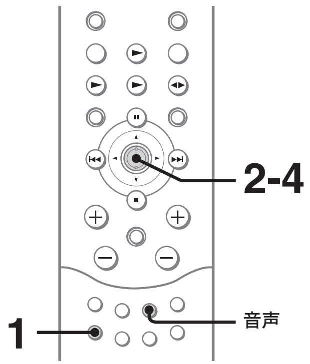
再生中に、経過時間と残り時間を切り換えることができます。詳しくは、「画面を使って経過時間と残り時間を見る」（57ページ）をご覧ください。

音声/字幕/言語を変える

DVD VIDEO CD SA-CD CD MP3 JPEG

音声を切り換える（JPEG以外）

DVDの中には、複数の言語（マルチランゲージ）で音声が記録されているものや、複数の音声記録方式（PCM、ドルビーデジタル、DTSなど）で録音されているものがあります。このようなDVDでは、再生中に音声の言語や音声記録方式を選ぶことができます。



1 再生中にDVD画面表示ボタンを押す

本機に接続されたテレビにコントロールメニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼で「音声」を選び、決定ボタンを押す

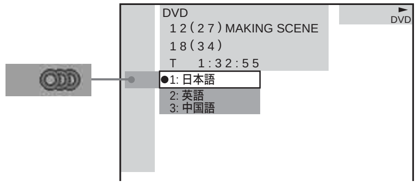
「音声」の設定項目が表示されます。

3 ▲/▼で音声を選ぶ

DVDのとき

選べる言語と音声記録方式はDVDによって異なります。

4桁の数字が表示されたときは、「言語コード一覧表」（81ページ）をご覧ください。同じ言語が2個以上表示されたときは、音声記録方式（チャンネル数など）が異なります。



ビデオCD/CD/MP3のとき

お買い上げ時の設定は、「ステレオ」です。

- ステレオ：通常のステレオ再生
- 1/L：左チャンネルの音（モノラル）
- 2/R：右チャンネルの音（モノラル）

スーパーオーディオCDのとき

停止中に設定してください。ディスクによって選べる項目が異なります。

お買い上げ時の設定は、「Super Audio CD」です。

- Super Audio CD：スーパーオーディオCDデータの再生
- CD：通常のCDデータの再生*

* ハイブリッドディスクのときに選べます。

4 決定ボタンを押す

画面表示を消す

DVD画面表示ボタンを押す。

次のページへつづく

お好みの音声言語を登録する

「表示言語や音声言語、視聴に関する設定を変える（言語設定/視聴設定）」（29ページ）の操作で、本機にあらかじめ設定しておくことができます。

ご注意

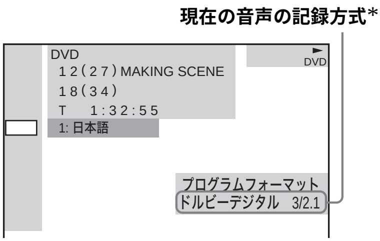
- 複数の音声が記録されていないディスクでは、音声の切り換えはできません。
- DVDによっては複数の言語が記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- ビデオCDやCD、MP3のときは、電源を切ったり、ディスクを取り出したりすると通常のステレオ再生に戻ります。
- DVD再生中、自動的に音声が切り換わることがあります。

ちょっと一言

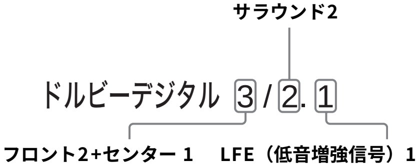
音声ボタンで直接「音声」を選ぶことができます。くり返し押して設定します。

再生しているチャンネルを表示する（DVDのみ）

「音声」を選ぶと、現在再生中のDVDに記録されているチャンネル数を表示することができます。



*「PCM」または「DTS」、「ドルビーデジタル」が表示されます。
「ドルビーデジタル」のときは音声の含まれるチャンネルが次のように数字で表示されます。
ドルビーデジタル5.1chの場合：



画面表示の例

- PCM（ステレオ）

  プログラムフォーマット
  PCM 48kHz 24bit

- ドルビーサラウンドのとき

  プログラムフォーマット
  ドルビーデジタル 2/0
  ドルビーサラウンド

- ドルビーデジタル5.1チャンネルのとき

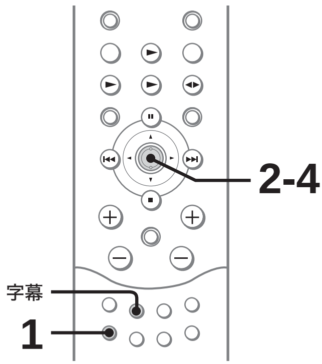
  プログラムフォーマット
  ドルビーデジタル 3/2.1

- DTSのとき

  プログラムフォーマット
  DTS 3/2.1

字幕を表示する（DVDのみ）

字幕が記録されているディスクは、再生中に字幕を表示したり消したりできます。複数の言語で字幕が記録されているときは、再生中に字幕を切り換えることができます。語学学習などに便利です。

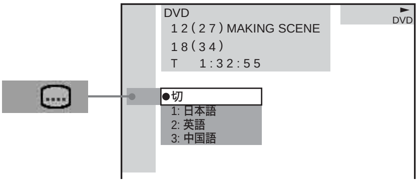


1 再生中にDVD画面表示ボタンを押す

本機に接続されたテレビにコントロールメニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼で「字幕」を選び、決定ボタンを押す

「字幕」の設定項目が表示されます。



3 ▲/▼で言語を選ぶ

選べる言語はディスクによって異なります。
4桁の数字が表示されたときは「言語コード一覧表」（81ページ）をご覧ください。

4 決定ボタンを押す

字幕を消す

手順3で「切」を選ぶ。

画面表示を消す

DVD画面表示ボタンを押す。

お好みの字幕言語を登録する

「表示言語や音声言語、視聴に関する設定を変える（言語設定/視聴設定）」（29ページ）の操作で、本機にあらかじめ設定しておくことができます。

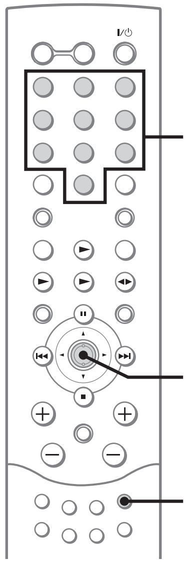
ご注意

ディスクによっては字幕が記録されていても、字幕を表示したり消したりすることや、切り換えを禁止している場合があります。

ちょっと一言

字幕ボタンで直接「字幕」を選ぶことができます。くり返し押して設定します。

表示言語や音声言語、視聴に関する設定を変える（言語設定/視聴設定）



1 停止中にDVD設定ボタンを押す

本機に接続されたテレビに設定画面が表示されます。

2 ▲/▼で設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

選ぶ	設定の種類
言語設定	画面表示言語、DVDメニュー言語、音声言語、字幕言語
視聴設定	視聴年齢制限（36ページ）、音声トラック自動選定モード、オーディオDRC、データCD優先モード、JPEG日付

次のページへつづく

3 ▲/▼で設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

4 ▲/▼で項目を選び、決定ボタンを押す

ご注意

選んだ言語がディスクに記録されていないときは、記録されている言語のいずれかを選びます（「画面表示言語」を除く）。

ちょっと一言

- 「DVDの設定をお買い上げ時の状態*に戻すときは ― リセット」（75ページ）の操作で、視聴年齢制限を除くすべてのDVD設定をリセットできます。
- 「DVDメニュー言語」「音声言語」「字幕言語」で「その他→」を選んだときは、言語コード一覧表（81ページ）から言語コードを選び入力してください。数字ボタンで言語コードを入力します。次からは4桁の数字の言語コードが表示されます。

・画面表示言語

画面の表示言語を切り換えます。
表示される言語一覧から選びます。

・DVDメニュー言語（DVDのみ）

DVDメニューの言語を切り換えます。
表示される言語の一覧から選びます。

・音声言語（DVDのみ）

音声の言語を切り換えます。
表示される言語の一覧から選びます。

・字幕言語（DVDのみ）

字幕の言語を切り換えます。
表示される言語の一覧から選びます。

・音声トラック自動選定モード（DVDのみ）

複数の音声記録方式が用意されているDVDを再生するときに、チャンネル数の最も多い音声記録方式（PCM、DTS、ドルビーデジタル）を優先して再生することができます。
下線の項目は、お買い上げ時の設定です。

切	優先しない。
入	優先する。

ご注意

- この設定を「入」にすると、言語が切り換わることがあります。これは「音声トラック自動選定モード」の設定が「言語設定」の「音声言語」より優先されるためです。
- PCM、DTS、ドルビーデジタルのチャンネル数が同じ場合、PCM、DTS、ドルビーデジタルの順で優先されます。
- DVDによっては優先する音声があらかじめ決められていることがあります。この場合「入」に設定しても、チャンネル数の多い音声記録方式が優先されないことがあります。

・オーディオDRC（Dynamic Range Compression）

サウンドトラックのダイナミックレンジを狭くします。夜遅く、小さな音量で映画を見たいときに便利です。
下線の項目は、お買い上げ時の設定です。

切	ダイナミックレンジの圧縮はありません。
スタンダード	レコーディングエンジニアが意図したようなダイナミックレンジでサウンドトラックを再現します。
最大	ダイナミックレンジを極端に狭くします。

ご注意

オーディオDRCの圧縮はソースがドルビーデジタルのときのみ有効です。

・データCD優先モード（MP3、JPEGのみ）

MP3ファイルとJPEGファイルが混在するデータCD（CD-ROM/CD-R/CD-RW）ディスクを再生する際、どちらのファイルを優先して認識するか設定します。
下線の項目は、お買い上げ時の設定です。

<u>MP3</u>	MP3ファイルが存在する場合「MP3ディスク」として認識します。MP3ファイルが存在せず、JPEGファイルが存在する場合は「JPEGディスク」として認識します。
JPEG	JPEGファイルが存在する場合「JPEGディスク」として認識します。JPEGファイルが存在せず、MP3ファイルが存在する場合は「MP3ディスク」として認識します。

ご注意

マルチセッションで書き込んだデータCDの場合、最終セッションおよび最終セッションからリンクを張ったセッションが再生対象になります。

・JPEG日付

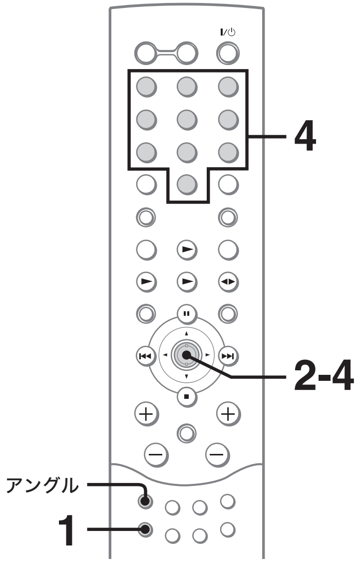
JPEG日付の表示順序を切り換えます。お買い上げ時の設定は「月/日/年」です。

アングル/映像を調節する

DVD　VIDEO CD　SA-CD　MP3　JPEG

アングルを切り換える（DVDのみ）

複数のアングルがディスクに記録されているとき、好きなアングルに切り換えながら再生できます。
例えば、動いている電車のシーンの再生中に、電車の正面から見ていた景色を、右の窓からの景色に切り換えて見ることができます。



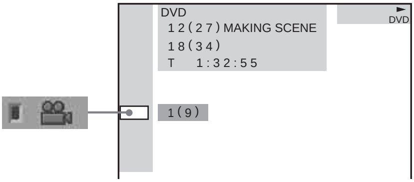
1　再生中にDVD画面表示ボタンを押す

本機に接続されたテレビにコントロールメニュー画面が表示されます。

次のページへつづく

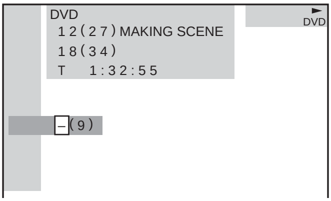
2 ▲/▼で「アングル」を選ぶ

カッコ内の数字は、ディスクに記録されているアングルの総数です。
再生中のアングル以外のアングルがディスク上に記録されているときは、アイコンが緑に点灯します。



3 ▶を選ぶ、または決定ボタンを押す

アングル番号が「－」に変わります。



4 ▲/▼または数字ボタンでアングル番号を選び、決定ボタンを押す

選んだアングルに切り換わります。

画面表示を消す

DVD画面表示ボタンを押す。

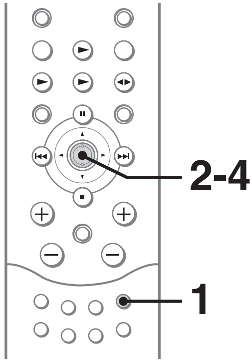
ご注意

ディスクによっては複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。

ちょっと一言

アングルボタンで直接「アングル」を選ぶことができます。くり返し押して設定します。

テレビの画面を調節する（画面設定）



1 停止中にDVD設定ボタンを押す

本機に接続されたテレビに設定画面が表示されます。

2 ▲/▼で「画面設定」を選び、決定ボタンを押す

3 ▲/▼で以下の設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

- TVタイプ
- スクリーンセーバー
- 背景画面
- コンポーネント出力

4 ▲/▼で項目を選び、決定ボタンを押す

ちょっと一言

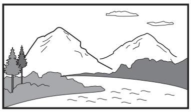
「DVDの設定をお買い上げ時の状態*に戻すときは ― リセット」（75ページ）の操作で、視聴年齢制限を除くすべてのDVD設定をリセットできます。

・TVタイプ（DVDのみ）

接続するテレビの画面の種類（ワイドテレビまたは従来の4:3画面テレビ）を設定します。
下線の項目は、お買い上げ時の設定です。

16:9	ワイドテレビまたは、ワイドモードのあるテレビとつなぐとき。
4:3 レターボックス	4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示する。
4:3 パンスキャン	4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示する。

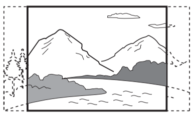
16:9



4:3レターボックス



4:3パンスキャン



ご注意

DVDによっては「4:3レターボックス」あるいは「4:3パンスキャン」に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。

・スクリーンセーバー

一時停止または停止したままで15分経つか、CD、スーパーオーディオCD、MP3、JPEG（スライドショー表示中を除く）を15分以上再生すると、スクリーンセーバーの画面に切り換わるよう設定します。画像の焼き付き（残像現象）を防ぐのに役立ちます。SA-CD/DVD►を押すと、スクリーンセーバー画面は消えます。
下線の項目は、お買い上げ時の設定です。

入	スクリーンセーバーを使う。
切	スクリーンセーバーを使わない。

・背景画面

停止中やCD再生中などの、画面の背景色や背景画面を設定します。
下線の項目は、お買い上げ時の設定です。

ジャケットピクチャー	ディスク（CD-EXTRAなど）にあらかじめ記録されているジャケットピクチャー（静止画像）を背景画面にする。ディスクにジャケットピクチャーが記録されていないときは、「グラフィックス」の画像が表示される。
グラフィックス	あらかじめ本機に記録されているグラフィックピクチャーを背景画面にする。
青	画面の背景色を「青」にする。
黒	画面の背景色を「黒」にする。

次のページへつづく

・コンポーネント出力

本機のMONITOR OUT COMPONENT D2端子から出力される映像信号の方式を設定します。

下線の項目は、お買い上げ時の設定です。

インターレース	標準のテレビ（インターレース方式）とつなぐとき。
プログレッシブ	プログレッシブ525p方式に対応したテレビとつなぐとき。

ご注意

「コンポーネント出力」を「プログレッシブ」に設定すると、MONITOR OUT VIDEO端子、S VIDEO端子から映像は出力されません。（本体のTUNERスティックを－（マイナス）方向に長押ししながらDDSGとSOUND FIELD ＋を同時に押すと、インターレース設定に戻ります。）

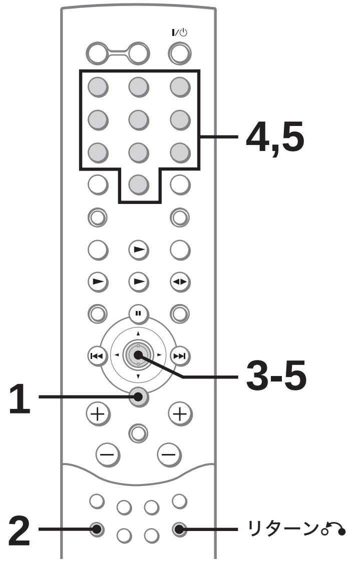
ディスクの再生を制限する

（カスタム視聴制限/視聴年齢制限）

DVD VIDEO CD SA-CD CD MP3 JPEG

特定のディスクを再生できないようにする（カスタム視聴制限）

登録した同じ暗証番号を使って、25枚までのディスクにカスタム視聴制限を設定することができます。26枚目のディスクを設定すると、1番最初に設定したディスクの制限が解除されます。



1　設定したいディスクを入れる

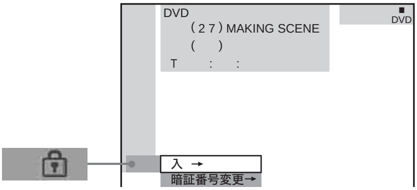
ディスクを再生しているときは、■を押して再生を止めます。

2 停止中にDVD画面表示ボタンを押す

本機に接続されたテレビにコントロールメニュー画面が表示されます。

3 ▲/▼で「カスタム視聴制限」を選び、決定ボタンを押す

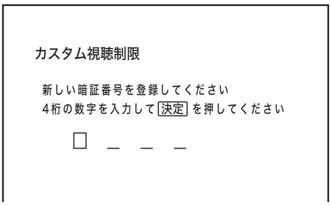
「カスタム視聴制限」が選ばれます。



4 ▲/▼で「入→」を選び、決定ボタンを押す

暗証番号が登録されていないときは

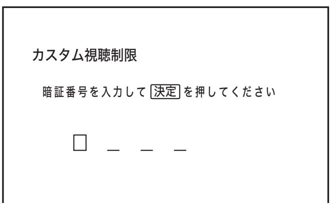
暗証番号登録の画面が表示されます。



数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押します。
暗証番号確認の画面が表示されます。

暗証番号がすでに登録されているときは

暗証番号入力の画面が表示されます。



5 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す

「カスタム視聴制限を設定しました」と表示され、コントロールメニューの画面に戻ります。

暗証番号を間違えたときは

決定ボタンを押す前に◀を選び、入力し直します。

間違えたときは

リターン↶を押して、手順3から選び直す。

画面表示を消す

DVD画面表示ボタンを押す。

カスタム視聴制限を解除する

1 手順4で「切→」を選び、決定ボタンを押す。
2 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

暗証番号を変更する

1 手順4で「暗証番号変更→」を選び、決定ボタンを押す。
  暗証番号入力の画面が表示されます。
2 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
3 数字ボタンで新しい4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
4 確認のため、数字ボタンでもう一度暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

カスタム視聴制限が設定されたディスクを再生する

1 カスタム視聴制限が設定されたディスクを入れる。
  カスタム視聴制限の画面が表示されます。
2 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
  再生できる状態になります。

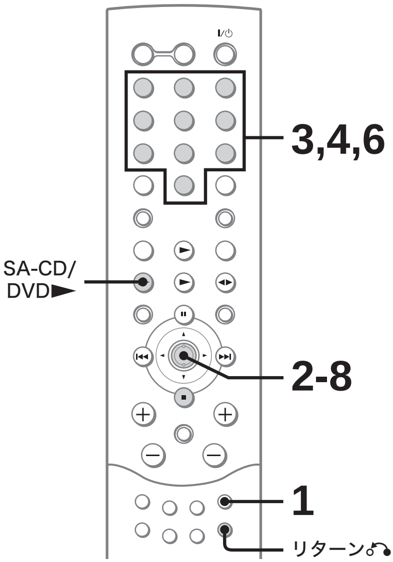
次のページへつづく

ご注意
- スーパーオーディオCDで、レイヤーを切り換えた場合、カスタム視聴制限が設定されていると、暗証番号の入力画面になることがあります。
- ハイブリッドのスーパーオーディオCDでカスタム視聴制限の設定を行った場合は、現在のレイヤーにのみ設定が有効になります。

ちょっと一言
暗証番号を忘れてしまったときは、カスタム視聴制限画面で、暗証番号を入力する案内が表示されているとき、6桁の数字「199703」を数字ボタンで入力して決定ボタンを押します。画面に、新しい4桁の暗証番号を入力する案内が表示されます。

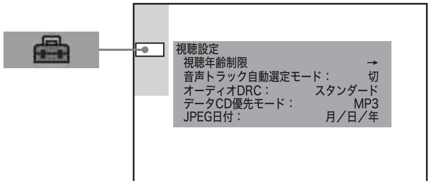
視聴年齢制限付きDVDの再生できるシーンを制限する（視聴年齢制限）

DVDの中には、地域ごとに設けられたレベル（見る人の年齢など）によって視聴を制限できるものがあります。視聴年齢制限機能を使うと、この視聴制限レベルを設定することができます。
制限されているシーンが再生されたとき、そのシーンをカットしたり、あらかじめ用意された別のシーンに差し替えて再生します。

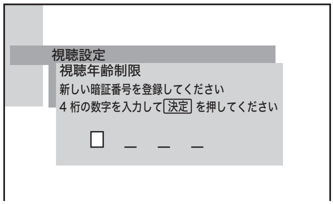


1 停止中にDVD設定ボタンを押す
本機に接続されたテレビに設定画面が表示されます。

2 ▲/▼で「視聴設定」を選び、決定ボタンを押す
「視聴設定」画面が表示されます。

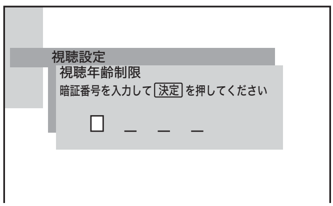


3 ▲/▼で「視聴年齢制限→」を選び、決定ボタンを押す
暗証番号が登録されていないときは
暗証番号登録の画面が表示されます。



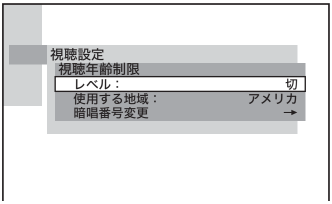
数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押します。
暗証番号確認の画面が表示されます。

暗証番号がすでに登録されているときは
暗証番号入力の画面が表示されます。



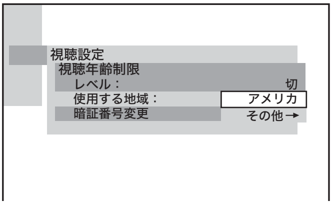
4 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す

視聴制限のレベル設定および、暗証番号の変更の画面が表示されます。



5 ▲/▼で「使用する地域」を選び、決定ボタンを押す

「使用する地域」の選択項目が表示されます。

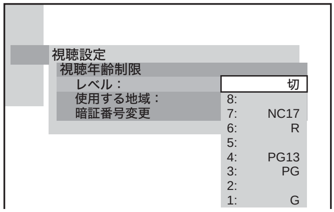


6 ▲/▼で視聴制限レベルの基準にする地域を選び、決定ボタンを押す

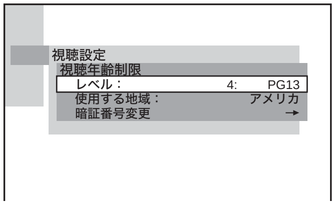
地域が選ばれます。
「その他→」を選んだときは、38ページの表から地域コードを選び、数字ボタンで入力します。

7 ▲/▼で「レベル」を選び、決定ボタンを押す

「レベル」の選択項目が表示されます。



8 ▲/▼で制限するレベルを選び、決定ボタンを押す



視聴年齢制限の設定が終了します。
レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。

間違えたときは

リターン↶を押して1つ前の画面に戻り、選び直す。

画面表示を消す

DVD設定ボタンを押す。

視聴年齢制限を解除する

手順8で「レベル」を「切」にする。

暗証番号を変更する

1 手順5で▼を使って「暗証番号変更→」を選び、決定ボタンを押す。
暗証番号入力の画面が出ます。
2 もう一度手順3と同じ操作をして、新しい暗証番号を登録する。

次のページへつづく

視聴年齢制限が設定されたディスクを再生する

1 ディスクを入れて、SA-CD/DVD►を押す。
視聴制限の暗証番号入力画面が表示されます。

2 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
再生が始まります。

ご注意

- 視聴年齢制限機能がないDVDは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。
- DVDによっては、再生中に視聴年齢設定の変更を要求される場合があります。その場合、暗証番号を入力し、レベルを変更してください。

ちょっと一言

登録した暗証番号を忘れてしまったときは、ディスクを取り出し、「視聴年齢制限付きDVDの再生できるシーンを制限する（視聴年齢制限）」（36ページ）の手順1～3にしたがって操作します。暗証番号を入力する案内が表示されたら、6桁の数字「199703」を数字ボタンで入力して決定ボタンを押します。画面に、新しい4桁の暗証番号を入力する案内が表示されます。
新しい暗証番号を入力して、ディスクを本機に入れなおし、SA-CD/DVD►を押します。暗証番号入力画面が表示されるので、新しい暗証番号を入れます。

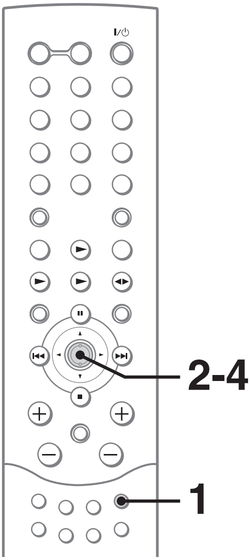
地域コード

使用する地域	コード番号
アルゼンチン	2044
イギリス	2184
イタリア	2254
インド	2248
インドネシア	2238
オーストラリア	2047
オーストリア	2046
オランダ	2376
カナダ	2079
韓国	2304
シンガポール	2501
スイス	2086
スウェーデン	2499
スペイン	2149
タイ	2528
台湾	2543
中国	2092
チリ	2090
デンマーク	2115
ドイツ	2109
日本	2276
ニュージーランド	2390
ノルウェー	2379
パキスタン	2427
フィリピン	2424
フィンランド	2165
ブラジル	2070
フランス	2174
ベルギー	2057
ポルトガル	2436
香港	2219
マレーシア	2363
メキシコ	2362
ロシア	2489

スピーカーを調節する

（スピーカー設定）

ディスクに記録されているLFEチャンネルを使って、低音を強調した音声を楽しむことができます。



1 停止中にDVD設定ボタンを押す

本機に接続されたテレビに設定画面が表示されます。

2 ▲/▼で「スピーカー設定」を選び、決定ボタンを押す

「LFE」が表示されます。

3 決定ボタンを押す

4 ▲/▼で項目を選び、決定ボタンを押す

• LFE（Low Frequency Effect）

下線の項目は、お買い上げ時の設定です。

入	LFEチャンネルが出力される。
切	LFEチャンネルが出力されない。

ご注意

- 項目を選んだときは、音が一瞬途切れます。
- 音声にひずみやむらが極度にあるときは、「切」に設定してください。

ディスクごとに表示/選択できる項目と機能一覧

DVD画面表示ボタンを押すと、本機に接続されたテレビに以下のコントロール画面項目が表示されます。

表示項目	機能
ディスク	ディスク名を表示します。再生するディスクを選びます。
タイトル（DVDのみ）/**シーン**（PBC再生時のビデオCDのみ）/**トラック**（ビデオCDのみ）	再生するタイトル（DVD）やシーン（PBC再生時のビデオCD）、トラック（ビデオCD）を選びます。
チャプター（DVDのみ）/**インデックス**（ビデオCDのみ）	再生するチャプター（DVD）やインデックス（ビデオCD）を選びます。
アルバム（MP3のみ）	再生するアルバム（MP3）を選びます。
トラック（CD/スーパーオーディオCD/MP3のみ）	再生するトラック（CD/スーパーオーディオCD/MP3）を選びます。
インデックス（CD/スーパーオーディオCDのみ）	再生するインデックス（スーパーオーディオCD）を選びます（CDは表示のみ）。
時間	経過時間および残り時間を調べます。タイムコードを入力して映像や曲を探します。
音声（JPEG以外）	複数の言語（マルチランゲージ）で音声が記録されているディスクでは、再生中に好きな言語の音声に切り換えます。
字幕（DVDのみ）	字幕を表示します。字幕の言語を切り換えます。
アルバム（JPEGのみ）	再生するアルバム（JPEG）を選びます。
ファイル（JPEGのみ）	再生するファイル（JPEG）を選びます。
日付（JPEGのみ）	JPEG画像の撮影日を表示します。
アングル（DVDのみ）	好きなアングルに切り換えます。
プレイモード（DVD以外）	本機に入っているディスクの再生モード（ノーマル/シャッフル/プログラム）を切り換えます。
リピート	ディスク全体（全タイトル/全トラック）や1つのタイトル/チャプター /アルバム/トラックだけ、またはプログラム設定したトラックだけをくり返し再生します。
カスタム視聴制限	ディスクに、本機での再生を禁止する設定をします。

本機に設定できる項目一覧

DVD設定ボタンを押すと、本機に接続されたテレビに以下の設定画面項目が表示されます。
下線の項目は、お買い上げ時の設定です。

言語設定（29ページ）

画面表示言語	日本語 ENGLISH
DVDメニュー言語	日本語 英語 中国語 ドイツ語 フランス語 イタリア語 スペイン語 ポルトガル語 オランダ語 デンマーク語 スウェーデン語 フィンランド語 ノルウェー語 ロシア語 その他→
音声言語	DVDメニュー言語と同じ
字幕言語	DVDメニュー言語と同じ

画面設定（32ページ）

TVタイプ	16:9 4:3レターボックス 4:3パンスキャン
スクリーンセーバー	入 切
背景画面	ジャケットピクチャー グラフィックス 青 黒
コンポーネント出力	インターレース プログレッシブ

視聴設定（29、36ページ）

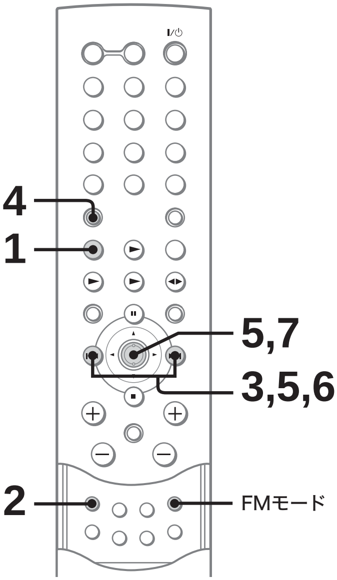
視聴年齢制限→	レベル	切 8： 7：NC17 6：R 5： 4：PG13 3：PG 2： 1：G
	使用する地域	アメリカ その他→
	暗証番号変更→	
音声トラック自動選定モード	切 入	
オーディオDRC	切 スタンダード 最大	
データCD優先モード	MP3 JPEG	
JPEG日付	月/日/年 年/月/日 日/月/年 年/日/月	

スピーカー設定（39ページ）

LFE	入 切

ラジオ局を記憶させる

FM放送を20局、AM放送を10局まで記憶（プリセット）させることができます。聞くときは、プリセット番号を選ぶだけで選局できます。



自動受信してプリセットする

地域で受信できるラジオ局を自動的に選び、記憶させることができます。

1 TUNER BANDをくり返し押して、「AM」か「FM」を選ぶ

2 チューニングモードボタンをくり返し押して、「AUTO」を表示させる

3 ＋または－を押す

周波数表示が変わっていき、ラジオ局を受信すると自動的に止まり、「TUNED」と「ST」（FMステレオ放送のときのみ）が表示されます。

「TUNED」が出ずに止まらないときは

「手動受信してプリセットする」（43ページ）の手順2、3を行い、聞きたいラジオ局の周波数に合わせます。

4 MENU/NOを押す

5 ⏮または⏭をくり返し押して「Memory?」を表示させ、決定ボタンを押す

プリセット番号（記憶させる番号）が点滅します。点滅している間に手順6、7を行ってください。



6 ＋または－をくり返し押して、記憶させたい番号（プリセット番号）を選ぶ

FMは1～20、AMは1～10から選びます。

7 決定ボタンを押す

8 手順1～7をくり返し、ラジオ局を記憶させていく

ちょっと一言
自動受信を途中でやめたいときは、チューニングモードボタンを押します。

手動受信してプリセットする

周波数をあわせて、好きなラジオ局を記憶させることができます。

1 TUNER BANDをくり返し押して、「AM」か「FM」を選ぶ

2 チューニングモードボタンをくり返し押して、「AUTO」や「PRESET」を消す

3 ＋または－を押して、受信したいラジオ局の周波数に合わせる

4 MENU/NOを押す

5 ⏮または⏭をくり返し押して「Memory?」を表示させ、決定ボタンを押す

プリセット番号（記憶させる番号）が点滅します。点滅している間に手順6、7を行ってください。

6 ＋または－をくり返し押して、記憶させたい番号（プリセット番号）を選ぶ

FMは1～20、AMは1～10から選びます。

7 決定ボタンを押す

8 手順1～7をくり返し、ラジオ局を記憶させていく

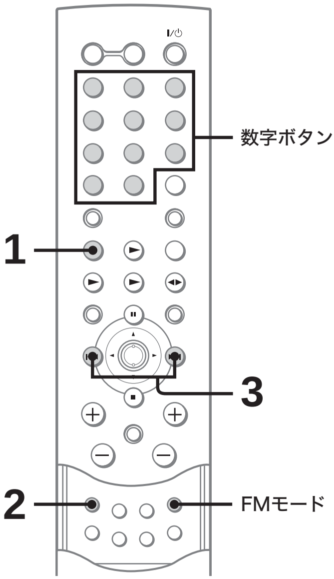
その他の操作

こんなときは	操作
電波の弱いラジオ局を受信する	「手動受信してプリセットする」の手順で受信する。
プリセットした番号に別のラジオ局を記憶させる	手順1からやり直す。手順5の後で＋または－をくり返し押して、別のラジオ局を記憶させたいプリセット番号を選びます。

ちょっと一言
- 停電になったり電源コードを抜いても、記憶させたラジオ局は約1日保持されます。
- 記憶させたラジオ局に名前を付けることができます（45ページ）。
- FMステレオ放送受信中、雑音が多いときはFMモードボタンをくり返し押して「MONO」を表示させます。モノラル受信になりますが、雑音が少なくなります。
- 受信状態が悪いときは、アンテナを窓の近くや外に置くなど、向きや置き場所、はる位置を変えてみてください。
  それでも受信状態が悪いときは、市販の外部アンテナの使用をおすすめします（64ページ）。

ラジオを聞く

好きなラジオ局をあらかじめ本機に記憶させて聞くことができます（プリセット受信）。また、周波数を合わせて記憶させていないラジオ局を聞くこともできます（マニュアル受信）。



記憶させたラジオ局を聞く（プリセット受信）

あらかじめ本機にラジオ局を記憶させておきます（42ページ）。

1 TUNER BANDをくり返し押して、「AM」か「FM」を選ぶ

2 チューニングモードボタンをくり返し押して、「PRESET」を表示させる

3 ＋または－をくり返し押して、聞きたいラジオ局のプリセット番号を選ぶ

プリセット番号を選ぶ

数字ボタンを使って、聞きたいラジオ局のプリセット番号を選ぶこともできます。

10以降を選ぶには、>10を押してからプリセット番号を押します。0を選ぶには、10/0を押します。

また、本体のTUNERスティックで＋または－を選ぶと、チューニングモードが「PRESET」以外のときでもプリセット番号を選ぶことができます。

周波数を合わせてラジオを聞く（マニュアル受信）

1 TUNER BANDをくり返し押して、「AM」か「FM」を選ぶ

2 チューニングモードボタンをくり返し押して、「AUTO」や「PRESET」を消す

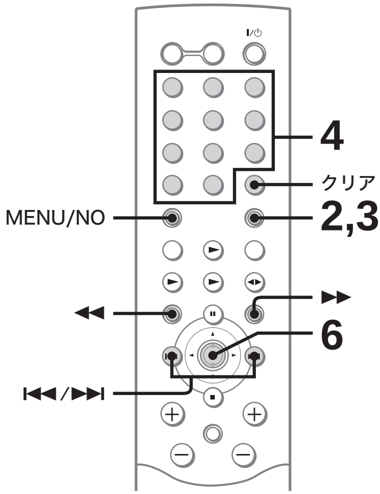
3 ＋または－をくり返し押して、聞きたいラジオ局の周波数に合わせる

ちょっと一言

- 受信状態が悪いときは、アンテナを窓の近くや外に置くなど、向きや置き場所、はる位置を変えてみてください。
  それでも受信状態が悪いときは、市販の外部アンテナの使用をおすすめします（64ページ）。
- FMステレオ放送受信中、雑音が多いときはFMモードボタンをくり返し押して「MONO」を表示させます。モノラル受信になりますが、雑音が少なくなります。
- 「周波数を合わせてラジオを聞く」の手順2で「AUTO」を表示させ、＋または－を押すと、周波数表示が変わっていき、ラジオ局を受信すると自動的に止まります（自動受信）。
- 他の音源を聞いているときにTUNER BANDを押すと、ファンクションがラジオに切り換わり前に聞いていたラジオ局を聞くことができます（オートファンクション）。

記憶させたラジオ局に名前を付ける

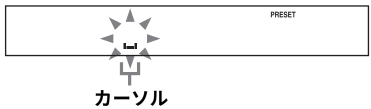
最大10文字まで名前を付けられます。名前はプリセット受信したときに表示されます。



1　名前を付けたいラジオ局をプリセット受信する（「記憶させたラジオ局を聞く（プリセット受信）」（44ページ））

2　NAME EDIT/SELECTを押す

文字入力画面になり、カーソルが点滅します。



次のページへつづく

3 NAME EDIT/SELECTをくり返し押して、文字の種類を選ぶ

文字の種類（表示順）	表示
アルファベット大文字/スペース/記号	Selected AB
アルファベット小文字/スペース/記号	Selected ab
カタカナ/カタカナ小文字*[1]/濁点・半濁点/一部の記号*[2]	Selected ア
数字	Selected 12

*[1] カタカナ小文字はアイウエオヤユヨツのみ入力できます。
*[2]「– ,.」のみ入力できます。

4 入力したい文字に対応するアルファベット/数字/カタカナ入力ボタンを押す

文字の種類	操作
アルファベット/カタカナ	入力したい文字や行がある数字ボタン（または⏮/⏭）をくり返し押して希望の文字を表示させ、▶▶を押す。
数字	入力したい数字の数字ボタンを押す。
濁点（゛）/半濁点（゜）*/一部の記号	>10ボタンをくり返し押して、濁点・半濁点、一部の記号を選ぶ。
スペース（空き）	10/0ボタンを押す。
記号' –/,.( )：！？	数字ボタン1をくり返し押して、記号を選ぶ。
記号＆＋＜＞＿＝"；＃＄%@＊`	数字ボタン1を押してから、⏮/⏭をくり返し押して記号を選ぶ。

* 濁点は「ウ」、「カ/サ/タ/ハ行」、半濁点は「ハ行」の文字の後にのみ入力できます。

5 手順3、4をくり返して、名前を付ける

6 決定ボタンを押す

途中でやめる

MENU/NOを押す。

付けた名前を消す

1 名前を消したいラジオ局をプリセット受信する。
2 NAME EDIT/SELECTを押す。
3 クリアボタンをくり返し押して名前を消す。
4 決定ボタンを押す。

文字を消して変更する

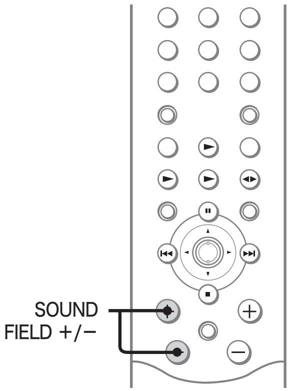
手順3、4中に、◀◀または▶▶をくり返し押して変更したい文字を点滅させ、クリアボタンを押して文字を消してから手順3、4をくり返す。

文字を追加する

手順1、2の後、文字を追加したいところまで◀◀または▶▶をくり返し押してカーソルを動かし、手順3へ進む。

サラウンドを楽しむ

本機にプログラムされているサウンドフィールド（音場効果）を選ぶだけで、簡単にサラウンド効果を楽しめます。ご自分の部屋で、映画館やコンサートホールの臨場感を再現できます。



SOUND FIELD ＋または－をくり返し押して、希望するサウンドフィールドを表示させる

サウンド効果を解除する

SOUND FIELD ＋または－をくり返し押して、「FLAT」を表示させる。

選択できるサウンドフィールドの種類

サウンドフィールド	表示窓の表示
FLAT	FLAT
CINEMA STUDIO EX A	C.ST.EX A*
CINEMA STUDIO EX B	C.ST.EX B*
CINEMA STUDIO EX C	C.ST.EX C*
ROCK	ROCK
POP	POP
JAZZ	JAZZ
CLASSIC	CLASSIC
DANCE	DANCE

* DCS（デジタルシネマサウンド）テクノロジーを使っています。

ご注意

次の場合、サウンドフィールドは無効になります。
－スーパーオーディオCDを再生しているとき
－別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9をつないで録音しているとき

サウンドフィールドの特徴

・CINEMA STUDIO EX A

ソニー・ピクチャーズエンターテインメントの映画制作スタジオ「ケリー・グラント・シアター」の音響特性を再現します。標準的なモードで、どんな映画にも適しています。

・CINEMA STUDIO EX B

ソニー・ピクチャーズエンターテインメントの映画制作スタジオ「キム・ノヴァク・シアター」の音響特性を再現します。このモードは音場効果が豊富に使われているSF映画やアクション映画に適しています。

・CINEMA STUDIO EX C

ソニー・ピクチャーズエンターテインメントのスコアリングステージの音響特性を再現します。このモードはミュージカルやオーケストラによるサウンドトラックが特長的な映画などに適しています。

・ROCK、POP、JAZZ、CLASSIC、DANCE

それぞれのジャンルの音楽に適した音場効果が得られます。

次のページへつづく

CINEMA STUDIO EX A～Cに関するご注意

- 仮想スピーカーによるサウンドフィールド再生では、エフェクトの効果によりノイズが目立つことがあります。
- サンプリング周波数96kHzのサウンドトラックを再生しているときの信号は、48kHzに変換されて出力されます。

DCS（デジタルシネマサウンド）とは

ソニー・ピクチャーズエンターテインメントとの提携により、同社のスタジオの音響環境を計測し、ソニー独自の技術であるDSP（デジタルシグナルプロセッサー）と計測データを融合させて、「デジタルシネマサウンド」は開発されました。「デジタルシネマサウンド」はホームシアターで、映画館の理想的な音場効果を再現します。

シネマスタジオEXについて

シネマスタジオEXは、以下の3つの要素から成り立っています。

- Virtual Multi Dimension
  実在する1組のフロントスピーカーに加えて、リスナーを取り巻くように5組の仮想スピーカーを再現します。
- Screen Depth Matching
  映画館では、スクリーンに映写されている映像の中から音が聞こえてくるように感じます。フロントスピーカーの音をスクリーンに移動させることによってご自分の部屋で同じような感覚を再現します。
- Cinema Studio Reverberation
  映画収録スタジオに特有の反射音や残響音を再現します。

シネマスタジオEXは、これら3つの音響効果を実現する総合的なサウンドフィールドです。

ちょっと一言

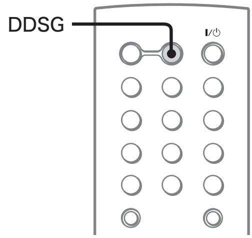
ドルビーデジタルでエンコードされたソフトは、パッケージを見れば分かります。

ードルビーデジタルでエンコードされているソフトには DOLBY DIGITAL マークが付いています。

ーDTSデジタルサラウンドでエンコードされているソフトにはDTSマークが付いています。

迫力のある音を楽しむ

低音を増強して音をダイナミックにし、迫力のある音が楽しめます。



DDSG*を押す

押すたびに表示が次のように変わります。しばらくすると元の表示に戻ります。

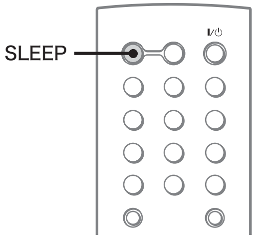
→DDSG OFF
↓
DDSG LOW
↓
DDSG HIGH

* DDSGはDigital（デジタル） Dynamic（ダイナミック） Sound（サウンド） Generator（ジェネレーター）の略です。

音楽を聞きながら眠る

（スリープタイマー）

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分単位で設定できます。



SLEEPを押す

押すたびに時間が次のように変わり、しばらくすると元の表示に戻ります。表示された時間がたつと、電源が切れます。

→ SLEEP OFF（スリープ解除）→ AUTO*1
10min ← … ← 80min ← 90min ←

こんなときは	操作
残り時間を確認する*2	SLEEPを1回押す。
途中で時間を変える	SLEEPをくり返し押して、時間を選び直す。
スリープタイマーを解除する	SLEEPをくり返し押して、「SLEEP OFF」を表示させる。

*1 240分たつと電源が切れます。また、再生中のディスクや、MDまたはテープ（別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9のみ）が終了すると、自動的に電源が切れます。
*2 AUTOに設定しているときは確認できません。

ご注意
スリープタイマーを使って、テレビの電源を切ることはできません。

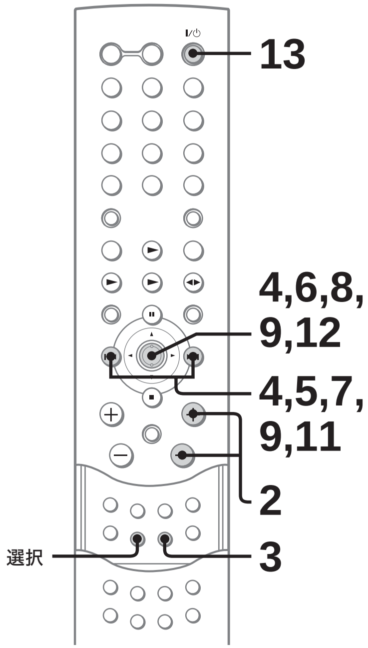
ちょっと一言
スリープタイマーは、時計合わせをしていなくても使用できます。

別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9をつないでいるときのご注意
- MDやテープにシンクロ録音するときは「AUTO」に設定しないでください。
- S.F EDITの動作中は、指定した時間がたっても自動的に電源が切れません。S.F EDITの動作が終了してから電源が切れます。
- Net MD機能が働いているときは、スリープタイマーを使うことができません。

目覚ましとして使う

（再生タイマー）

指定した日時に自動的に電源が入り、切れるように設定できます。操作の前に、時計を合わせておきます（12ページ）。



1 CDなどの音源を準備する

- DVDやCD：ディスクを入れる。好きな曲から再生したいときはプログラムする（21ページ）。
- ラジオ：プリセット受信する（44ページ）。
- MD：別売りのMDデッキにMDを入れる（60ページ）。好きな曲から再生したいときはプログラムする。
- テープ：別売りのカセットデッキにカセットテープを入れる（60ページ）。

2 VOLUME ＋または－を押して音量を調節する

3 時計/タイマーの設定ボタンを押す

4 ⏮または⏭をくり返し押して「PLAY SET?」を選び、決定ボタンを押す

5 ⏮または⏭をくり返し押して「PLAY ONCE?」、「PLAY DAILY?」、「PLAY WEEKLY?」のいずれかを選ぶ

「PLAY ONCE?」を選ぶと、タイマーは1度だけ働きます。
「PLAY DAILY?」を選ぶと、タイマーは毎日設定時刻に働きます。
「PLAY WEEKLY?」を選ぶと、タイマーは毎週、設定した曜日の設定時刻に働きます。

6 決定ボタンを押す

「PLAY ONCE?」または「PLAY WEEKLY?」を選んだときは、「曜日」が点滅します。
「PLAY DAILY?」を選んだときは、「時」が点滅します。

7 ⏮または⏭をくり返し押して「曜日」を選ぶ

手順5で「PLAY DAILY?」を選んだときは、手順9へ進みます。

8 決定ボタンを押す

「時」が点滅します。

9 開始時刻を合わせる

|◀◀ または▶▶|をくり返し押して「時」を合わせ、決定ボタンを押す。
「分」が点滅します。
|◀◀ または▶▶|をくり返し押して「分」を合わせ、決定ボタンを押す。
再び「曜日」または「時」が点滅します。

10 終了時刻を合わせる

手順7～9と同じ操作をして（「曜日」）「時」「分」を合わせます。

11 |◀◀ または▶▶|をくり返し押して、音源を選ぶ

押すたびに、次のように変わります。

→ TUNER ↔ DVD PLAY ←
→ TAPE PLAY* ↔ MD PLAY* ←

* 別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9をつないでいるとき音源に選べます。

12 決定ボタンを押す

タイマーの設定が表示されて、元の表示に戻ります。

13 電源を切る

設定を変更する

手順1からやり直す。

設定を確認する/タイマーを働かせる

1 時計/タイマーの選択ボタンを押す。
2 |◀◀ または▶▶|を押して、「TIMER SELECT?」を表示させ、決定ボタンを押す。
3 |◀◀ または▶▶|を押して、「PLAY ON?」を表示させ、決定ボタンを押す。

タイマーを解除する

1 時計/タイマーの選択ボタンを押す。
2 |◀◀ または▶▶|を押して、「TIMER OFF?」を表示させ、決定ボタンを押す。

ご注意

- 録音タイマーと同時に使用した場合は、録音タイマーの設定が優先されます。
- スリープタイマーを同時に使用した場合は、スリープタイマーの設定が優先されます。
- 電源は開始時刻の約30秒前に自動的に入ります。電源が入ってから開始時刻になるまでは、何も操作しないでください。タイマーが正しく働かなくなることがあります。
- 開始時刻の約30秒前にすでに電源が入っていると再生タイマーは働きません。
- VIDEO/SAT INおよびVIDEO/SAT DIGITAL IN OPTICAL端子につないだ機器は再生タイマーの音源としては使用できません。

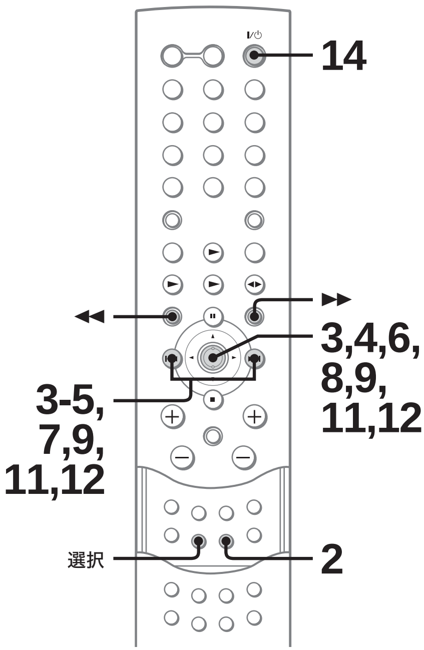
ちょっと一言

別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9とつなぐと（61ページ）、MD/カセットデッキ側でのタイマー設定をせずに、MDやテープを目覚ましとして使用できます。

タイマーを使って録音する

（録音タイマー）

本機のラジオから別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9へタイマー録音ができます。録音タイマーをお使いいただくには、あらかじめ別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9をつなぐ必要があります。本機のみでは、この機能は使えません。
操作の前に、別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9をつなぎ、ラジオ局を記憶させ（42ページ）、時計を合わせておきます（12ページ）。詳しくは、「専用MD/カセットデッキMDS-SE9とつなぐ」（61ページ）をご覧ください。



1 録音したいラジオ局をプリセット受信する（44ページ）

2 時計/タイマーの設定ボタンを押す

3 ⏮または⏭をくり返し押して「REC SET?」を選び、決定ボタンを押す

4 ⏮または⏭をくり返し押して「REC 1」から「REC 3」のいずれかを選び、決定ボタンを押す

5 ⏮または⏭をくり返し押して「ONCE?」、「DAILY?」、「WEEKLY?」のいずれかを選ぶ

「ONCE?」を選ぶと、タイマーは1度だけ働きます。
「DAILY?」を選ぶと、タイマーは毎日設定時刻に働きます。
「WEEKLY?」を選ぶと、タイマーは毎週、設定した曜日の設定時刻に働きます。

6 決定ボタンを押す

「ONCE?」または「WEEKLY?」を選んだときは、「曜日」が点滅します。
「DAILY?」を選んだときは、「時」が点滅します。

7 ⏮または⏭をくり返し押して「曜日」を選ぶ

手順5で「DAILY?」を選んだときは、手順9へ進みます。

8 決定ボタンを押す

「時」が点滅します。

9 開始時刻を合わせる

⏮または⏭をくり返し押して「時」を合わせ、決定ボタンを押す。
「分」が点滅します。
⏮または⏭をくり返し押して「分」を合わせ、決定ボタンを押す。
再び「曜日」または「時」が点滅します。

10 終了時刻を合わせる

手順7〜9と同じ操作をして（「曜日」）「時」「分」を合わせます。

11 ⏮または⏭をくり返し押してMDまたはテープを選び、決定ボタンを押す

12 MDに録音するときは⏮または⏭をくり返し押して録音モード（LP2/LP4など）を選び、決定ボタンを押す

タイマーの設定が表示されて、元の表示に戻ります。

13 別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9に録音用のMDまたはテープを入れる

14 電源を切る

設定を変更する

手順1からやり直す。

タイマーを働かせる/解除する

1 時計/タイマーの選択ボタンを押し、⏮または⏭を押して「TIMER SELECT?」を表示させ、決定ボタンを押す。

2 ⏪または⏩を押してタイマーの番号（REC1〜3）を選んでから、⏮または⏭でタイマーの番号（セット）、「－」（解除）を選び、決定ボタンを押す。
タイマーが設定されていないときは、「・」が表示されます。

設定を確認する

「タイマーを働かせる／解除する」の手順2で、確認したいタイマーの番号（REC1〜3）を表示させ、決定ボタンを押す。
最後に設定した内容が表示されます。

ご注意

- スリープタイマーを同時に使用したときは、スリープタイマーの設定が優先されます。
- 電源は開始時刻の約30秒前に自動的に入ります。電源が入ってから開始時刻になるまでは、何も操作しないでください。タイマーが正しく働かなくなることがあります。
- 開始時刻の約30秒前にすでに電源が入っていると、録音タイマーが働かず録音されません。
- 録音中、ボリュームは最小になります。
- MDに録音するときに、グループ機能を働かせてタイマー録音を設定した場合、グループを指定していなければ、新しいグループを作って録音します。
- 再生タイマーの音源をテープにしているとき、同時に録音タイマーを設定すると、テープに録音されることがありますのでご注意ください。

ちょっと一言

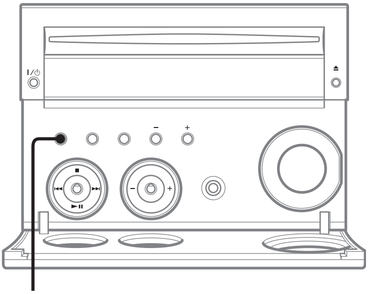
ラジオから録音したときはラジオ局名（45ページ、局名を付けていないときは周波数）が、開始時刻、終了時刻と一緒にMDに記録されます。

表示

表示窓の表示を消す

（節電モード）

表示窓の時計表示を消して、電源を切った状態での消費電力を最低限におさえることができます（節電モード）。



電源を切った状態でDISPLAYをくり返し押して、時計表示を消す

節電モードに切り換わります。

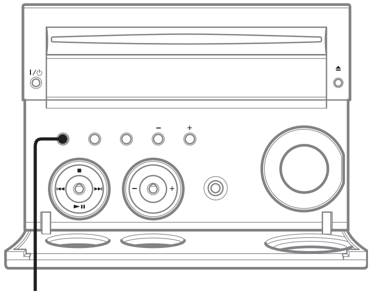
節電モードを解除する

電源を切った状態で、DISPLAYをくり返し押す。
押すたびに表示窓が次のように切り換わります。
時間表示 ←→ 非表示（節電モード）

ちょっと一言
節電モード時も、タイマーは働きます。

表示窓を使って残り時間や名前を見る

再生中のトラック（曲）やディスク全体の経過時間と残り時間を見ることができます。
また、TEXT情報が付いているディスクの場合、タイトル名などを見ることができます。



ディスクの残り時間や名前を見る

再生中にDISPLAYを押す

押すたびに次のように変わります。

DVD再生中

再生中のタイトルの番号とタイトル経過時間
↓
再生中のタイトルの番号とタイトル残り時間*1
↓
再生中のチャプターの番号とチャプター経過時間*1
↓
再生中のチャプターの番号とチャプター残り時間*1
↓
タイトル名*2
↓
時計*3
↓
サウンドフィールド名*3
↓
VOLUME（音量）*3

ビデオCD（PBC再生中以外）/CD/スーパーオーディオCD再生中

再生中のトラックの番号と経過時間*4
↓
再生中のトラックの番号と残り時間*4
↓
ディスク全体の経過時間*5
↓
ディスク全体の残り時間*5
↓
トラック名*2
↓
時計*3
↓
サウンドフィールド名*3
↓
VOLUME（音量）*3

MP3再生中

再生中のトラック番号と経過時間
↓
再生中のトラック番号と残り時間
↓
トラック（ファイル）名*2
↓
アルバム（フォルダ）名*2、6
↓
時計*3
↓
サウンドフィールド名*3
↓
VOLUME（音量）*3

ご注意
- ID3タグはバージョン1にのみ対応しています。
- 再生中のMP3ファイルにID3タグが記録されている場合は、トラック（ファイル）名の代わりにID3タグ情報が表示されます。
- ID3タグの文字コードはASCIIおよびISO9660に準拠しています。Jolietフォーマットのディスクは ASCIIでのみ表示されます。上記に対応していない文字は正しく表示されません。
- MP3のビットレートがVBR（Variable Bit Rate）の場合には、MP3の経過時間と残り時間が正確に表示されないことがあります。

JPEG再生中

ファイル番号
↓
ファイル名*2
↓
アルバム（フォルダ）名*2、6
↓
時計*3
↓
サウンドフィールド名*3
↓
VOLUME（音量）*3

*1 再生しているディスクや再生モードによっては、表示されないことがあります。
*2 文字情報がない場合はスキップします。
*3 一定時間表示された後、先頭の項目に戻ります。
*4 ビデオCDのPBC再生中は、シーンの経過時間だけが表示されます。
*5 シャッフル再生やプログラム再生中は表示されません。
*6 文字情報のスクロールが終わると、先頭の項目に戻ります。

次のページへつづく

ディスクの総再生時間を見る

停止中にDISPLAYを押す

押すたびに次のように変わります。

DVD停止中

総タイトル数
↓
ディスク名*1
↓
時計*2
↓
サウンドフィールド名*2
↓
VOLUME（音量）*2

ビデオCD/CD/スーパーオーディオCD停止中

総曲数と総再生時間
↓
ディスク名*1
↓
時計*2
↓
サウンドフィールド名*2
↓
VOLUME（音量）*2

*1 文字情報がない場合はスキップします。
*2 一定時間表示された後、先頭の項目に戻ります。

MP3/JPEG停止中

総アルバム（フォルダ）数*1
↓
ディスク名*2
↓
時計*3
↓
サウンドフィールド名*3
↓
VOLUME（音量）*3

*1「ALBM」または「ALBM SHUF」が表示されているときは、選択アルバム内の曲数（MP3の場合）またはファイル数（JPEGの場合）が表示されます。
*2「ALBM」または「ALBM SHUF」が表示されているときは、アルバム（フォルダ）名が表示されます。
*3 一定時間表示された後、先頭の項目に戻ります。

ラジオ局名を見る（ラジオ）

受信中にDISPLAYを押す

押すたびに次のように変わります。

ラジオ局名*1
↓
プリセット番号と周波数*2
↓
時計*3
↓
サウンドフィールド名*3
↓
VOLUME（音量）*3

*1 名前を付けていない場合は、表示されません。
*2 ラジオ局名が付いている場合は、一定時間表示された後先頭の項目に戻ります。
*3 一定時間表示された後、先頭の項目に戻ります。

長い名前をスクロール表示する

リモコンのスクロールボタンを押す。

表示窓に名前が横に流れます（スクロール)。

ご注意

DVDによってはチャプター番号や時間が表示されない場合や、表示を変えられない場合があります。

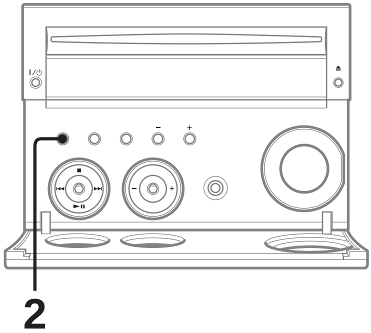
ちょっと一言

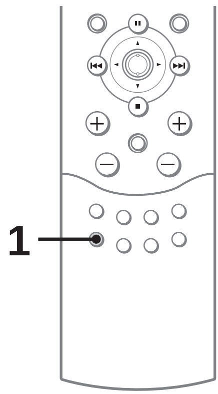
- 再生中にいつでも曲名を見ることができます。リモコンのスクロールボタンを押すと曲名全体が表示窓にスクロールして表示されます。
- ラジオ局に名前を付けたいときは「記憶させたラジオ局に名前を付ける」（45ページ）をご覧ください。

画面を使って経過時間と残り時間を見る

DVD　VIDEO CD　SA-CD CD　MP3

再生中のタイトルやチャプター、トラック（曲）の経過時間と残り時間、ディスク全体の経過時間と残り時間を見ることができます。

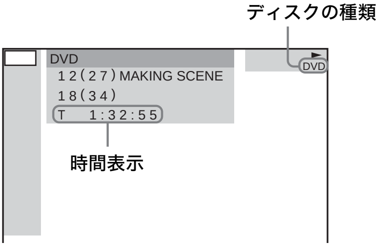




次のページへつづく

1 再生中にDVD画面表示ボタンを押す

本機に接続されたテレビにコントロールメニュー画面が表示されます。



2 DISPLAYをくり返し押して、表示を切り換える

表示や切り換えできる時間の種類はディスクによって異なります。

DVDのとき

- T ＊＊：＊＊：＊＊
  タイトルの経過時間
- T －＊＊：＊＊：＊＊
  タイトルの残り時間
- C ＊＊：＊＊：＊＊
  チャプターの経過時間
- C －＊＊：＊＊：＊＊
  チャプターの残り時間
- ＊＊：＊＊：＊＊
  メニューまたはチャプターが付いていないタイトルの経過時間

ビデオCDをPBC再生しているとき

- ＊＊：＊＊
  シーンの経過時間

ビデオCD（PBC再生中以外）/CD/スーパーオーディオCDのとき

- T ＊＊：＊＊
  トラックの経過時間
- T －＊＊：＊＊
  トラックの残り時間
- D ＊＊：＊＊
  ディスクの経過時間
- D －＊＊：＊＊
  ディスクの残り時間

MP3のとき

- T ＊＊：＊＊
  トラックの経過時間
- T －＊＊：＊＊
  トラックの残り時間

画面表示を消す

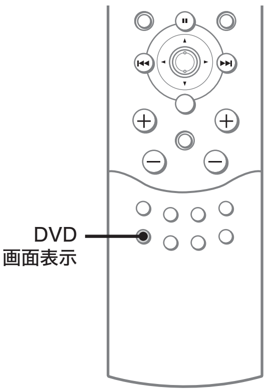
DVD画面表示ボタンを押す。

JPEG画像の日付を見る

JPEG

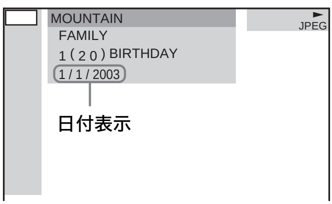
JPEGファイルでExif*タグに撮影した日付の情報が記録されている場合、再生中にその日付情報を見ることができます。

* Exchangeable Image File Formatは日本電子工業振興協会が制定したデジタルカメラ用画像ファイルフォーマット規格です。



再生中にDVD画面表示ボタンを押す

本機に接続されたテレビにコントロールメニュー画面が表示されます。



ご注意

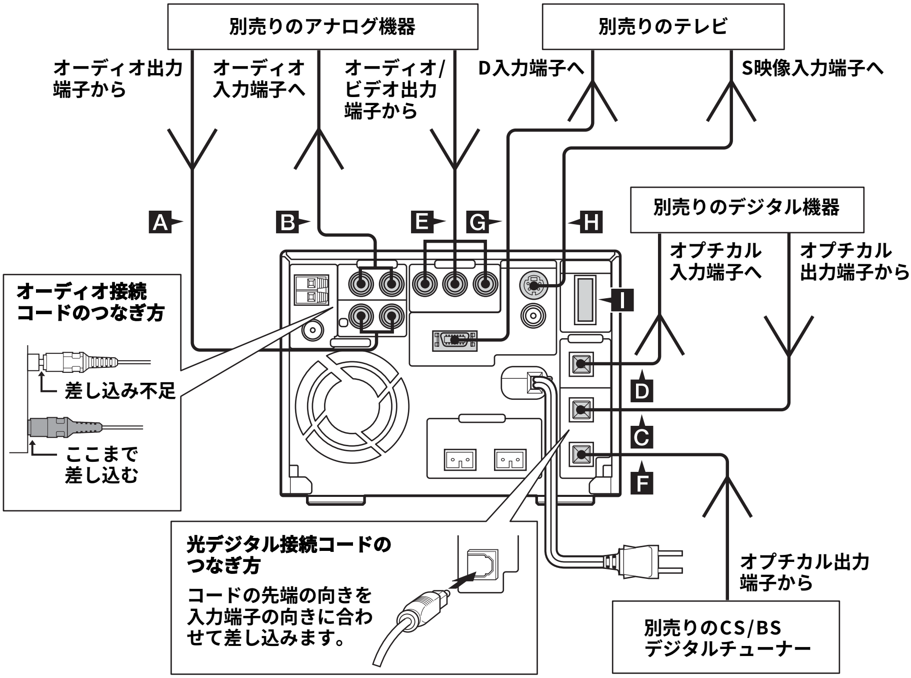
撮影日データが存在しない場合またはデータが壊れている場合は、撮影日は表示されません。

ちょっと一言

日付表示形式は「視聴設定」で変更できます（29ページ）。

別売り機器をつなぐ

つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9の接続についての詳細は、MDS-SE9に付属の取扱説明書をご覧ください。



A MD/TAPE IN端子
オーディオ接続コード（別売り）を使って、別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9をつなぎます。他の別売り機器（MDデッキ、レコードプレーヤーなど）をつなぐこともできます。本機でアナログ音声を聞くことができます。

B MD/TAPE OUT端子
オーディオ接続コード（別売り）を使って、別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9をつなぎます。他の別売り機器（MDデッキ、カセットデッキなど）をつなぐこともできます。

C MD DIGITAL IN OPTICAL端子
光デジタル接続コード（角形、別売り）を使って、別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9をつなぎます。他の別売りのデジタル機器（MDデッキなど）をつなぐこともできます。本機でデジタル音声を聞くことができます。

D MD DIGITAL OUT OPTICAL端子
光デジタル接続コード（角形、別売り）を使って、別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9をつなぎます。他の別売りのデジタル機器（MDデッキ、DATデッキなど）をつなぐこともできます。本機のファンクションがDVDの時に、音声出力されます。また、ドルビーデジタルまたはDTSデコーダー付AVアンプの光デジタル入力端子と接続して、アンプの機能を使った5.1ch（チャンネル）の音声を楽しむことができます。

E VIDEO/SAT IN端子
オーディオ/ビデオ接続コード（別売り）を使って、別売り機器（ビデオ、デジタル機器など）をつなぎます。本機でアナログ音声を聞くことができます。

F VIDEO/SAT DIGITAL IN OPTICAL端子
光デジタル接続コード（角形、別売り）を使って、別売りのデジタル機器（BSデジタル/デジタルCSチューナーなど）をつなぎます。本機でデジタル音声を聞くことができます。

G MONITOR OUT COMPONENT D2端子*
D映像入力端子付きのテレビをお使いのときは、D映像コード（別売り）を使ってつなぐと、映像本来の色が楽しめます。
プログレッシブ方式に対応したテレビと接続するときは、「テレビの画面を調節する （画面設定）」（32ページ）で「コンポーネント出力」を「プログレッシブ」に設定してください。

H MONITOR OUT S VIDEO端子*
S映像入力端子付きのテレビをお使いのときは、S映像コード（別売り）を使ってつなぎます。さらに鮮明な画像が楽しめます。

I SYSTEM CONTROL端子
システムケーブルを使って、別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9をつなぎます。CDシンクロ録音やタイマー録音ができます。

* DVDまたはビデオCDのときのみビデオ信号が出力されます。

別売り機器の音を本機のスピーカーで聞く

専用MD/カセットデッキMDS-SE9とつなぐ

別売りのMD/カセットデッキMDS-SE9とシステムケーブルをつなぐと、CDシンクロ録音やタイマー録音をすることができます。
接続、操作については、MDS-SE9に付属の取扱説明書をご覧ください。

BSデジタル/デジタルCSチューナーなどのデジタル機器とつなぐ

1. 光デジタル接続コードをつなぐ。
「別売り機器をつなぐ」（60ページ）をご覧ください。
2. FUNCTIONをくり返し押して、「VIDEO」を表示させる。
3. MENU/NOを押して「SAT?」を表示させ、決定ボタンを押す。
別売り機器の再生を始めてください。

その他のデジタル機器（MDデッキなど）とつなぐ

1. 光デジタル接続コードをつなぐ。
「別売り機器をつなぐ」（60ページ）をご覧ください。
2. FUNCTIONをくり返し押して、「MD」を表示させる。
別売り機器の再生を始めてください。

ビデオなどの機器とつなぐ

1. オーディオ/ビデオ接続コードをつなぐ。
「別売り機器をつなぐ」（60ページ）をご覧ください。
2. FUNCTIONをくり返し押して、「VIDEO」を表示させる。
別売り機器の再生を始めてください。

次のページへつづく

その他のアナログ機器（レコードプレーヤーなど）とつなぐ

1 オーディオ接続コードをつなぐ。
「別売り機器をつなぐ」（60ページ）をご覧ください。

2 FUNCTIONをくり返し押して、「MD」を表示させる。

3 MENU/NOを押して「TAPE?」を表示させ、決定ボタンを押す。
別売り機器の再生を始めてください。

ちょっと一言

- 光デジタル接続コードとオーディオ/ビデオ接続コードをどちらもつないでいるときは、VIDEO/SAT DIGITAL IN OPTICAL端子からの音声が優先されます。
- イコライザーアンプが内蔵されていないレコードプレーヤーを接続するときは、本機とプレーヤーの間に、MM型またはMC型に対応のカートリッジイコライザー（別売り）をつないでください。イコライザーアンプが内蔵されているかどうかや、MM型かMC型かについては、お使いになっているプレーヤーの製造元へお問い合わせください。

別売りのアンプをつないで5.1chを楽しむ

1 **光デジタル接続コードをつなぐ**
「別売り機器をつなぐ」（60ページ）をご覧ください。

2 **デコーダー付AVアンプに6台のスピーカーをつなぐ**
スピーカーの配置については、つなぐアンプの取扱説明書もあわせてご覧ください。

3 **5.1chドルビーデジタル音声、または5.1ch DTS音声を出力する**
「音声を切り換える（JPEG以外）」（27ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

本機のサウンド効果は使えません。

別売り機器と本機を使って録音する

専用MD/カセットデッキMDS-SE9で録音する

BSデジタル/デジタルCSチューナーなどのデジタル機器とつなぐ（デジタル録音）

シリアルコピーマネージメントシステム（64ページ）により、デジタル録音できない場合があります。そのときは、VIDEO/SAT IN端子につないでアナログ録音してください。

また、PCM以外でエンコードされた音声はデジタル録音できません。デジタル機器をPCM出力に設定してください。

1 光デジタル接続コードをつなぐ。
「別売り機器をつなぐ」（60ページ）をご覧ください。

2 MDにマニュアル録音をする。
MDS-SE9に付属の取扱説明書「好きなところから録音する」（MD）をご覧ください。

ビデオ、レコードプレーヤーなどの機器とつなぐ（アナログ録音）

1 オーディオ/ビデオ接続コードをつなぐ。
「別売り機器をつなぐ」（60ページ）をご覧ください。

2 マニュアル録音をする。
MDに録音するときはMDS-SE9に付属の取扱説明書「好きなところから録音する」（MD）を、テープに録音するときはMDS-SE9に付属の取扱説明書「好きなところから録音する」（テープ）をご覧ください。

別売り機器で録音する

MDデッキなどのデジタル機器とつなぐ（デジタル録音）

シリアルコピーマネージメントシステム（64ページ）により、デジタル録音できない場合があります。そのときは、MD/TAPE OUT端子につないでアナログ録音してください。

また、PCM以外でエンコードされた音声はデジタル録音できません。デジタル機器をPCM出力に設定してください。

1 光デジタル接続コードをつなぐ。
「別売り機器をつなぐ」（60ページ）をご覧ください。

2 FUNCTIONをくり返し押して、「DVD」を表示させる。

3 つないだデジタル機器の録音を始める。
別売り機器の取扱説明書をご覧ください。

4 SA-CD/DVD►を押して、本機の再生を始める。

ご注意

- デジタル録音できるのは、ディスクからのみです。ただし、コピーが禁止されているディスクは、デジタル録音できません。
- ドルビーデジタル方式で記録されたディスクの音声は、そのまま別売り機器にはデジタル録音されずに、2チャンネルにダウンミックスしてから録音されます。

カセットデッキなどの機器とつなぐ（アナログ録音）

1 オーディオ接続コードをつなぐ。
「別売り機器をつなぐ」（60ページ）をご覧ください。

2 FUNCTIONをくり返し押して、「DVD」または「TUNER」を表示させる。

3 つないだアナログ機器の録音を始める。
別売り機器の取扱説明書をご覧ください。

4 SA-CD/DVD►を押してディスクの再生を始めるか、録音したいラジオ局を受信する。

次のページへつづく

デジタル録音の制約 — シリアルコピーマネージメントシステム

デジタルオーディオでは、音声信号をデジタルでやりとりします。コンパクトディスク（CD）、ミニディスク（MD）、デジタルオーディオテープ（DAT）、衛星デジタル音楽放送などがこれに当たります。これらは音楽を手軽に、劣化の少ない状態でコピーできます。このため、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要になりました。それが「シリアルコピーマネージメントシステム」です。概要は以下の通りです。

原則1

デジタル録音したものから、さらに他のデジタル録音機器（MDやDATデッキなど）へのデジタル録音はできない。

原則2

アナログ録音したものは、他のデジタル録音機器へ1度だけデジタル録音できる。

ご注意

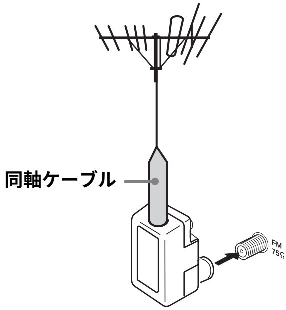
- 別売りの機器から本機につないだ専用MD/カセットデッキMDS-SE9に録音する場合、BSデジタル/デジタルCSチューナーからはデジタル録音できないことがあります。これは、放送局側で放送チャンネルや番組のデジタル録音を、禁止または制約する場合があるためです。
- 機器のアナログ入出力端子同士を接続してアナログ録音するときは、上記の原則にあたりません。
- 著作権を保護するためのコピーコントロール信号を除去、改変してコピーを作成することは、個人として楽しむ目的であっても法律で禁止されています。

市販の外部アンテナをつなぐ

付属のアンテナでうまく受信できないときにつなぎます。

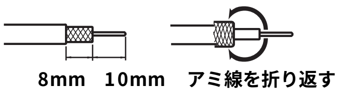
FMアンテナをつなぐ

市販のFM屋外アンテナを、市販の75Ω 同軸ケーブルを使ってつなぎます。
同軸ケーブルを使うと、雑音の影響を受けにくくなります。同軸ケーブルは3C-2Vが適当です。
屋外アンテナの購入、取り付けについては、本機をお買い上げいただいた販売店へご相談ください。

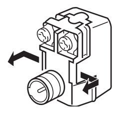


同軸ケーブルのつなぎかた

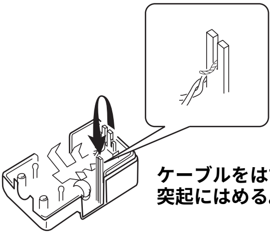
1 ケーブルの先端を処理する。



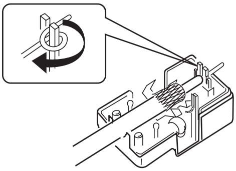
2 市販のアンテナコネクターのふたをはずす。



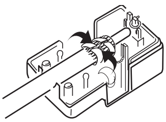
3 アンテナコネクター内のケーブルをはずし、突起にはめる。



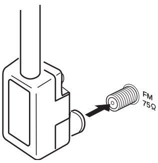
4 芯線を根元まで差し込んで巻きつける。



5 金具をペンチなどでしめつける。

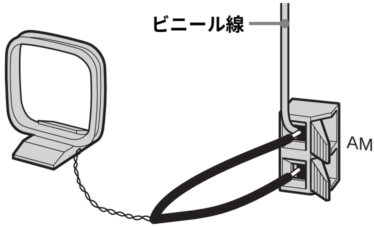


6 FMアンテナ端子へつなぐ。



AMアンテナをつなぐ

市販の6〜15mのビニール線を、窓際や屋外になるべく高く水平に張ります。付属のAMアンテナはつないだままにしておきます。



症状と原因

修理に出す前に、以下の手順にしたがって点検してください。

表示窓にメッセージが出ている

Cannot Play

はい → **メッセージ一覧（76ページ）へ**

いいえ ↓

次のページからの表を読んで、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

共通

症状	原因と対応のしかた
「ーー:ーー」が表示される	• 電源コードを抜いた、または停電などにより、時計の設定が解除されている。 • 別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9を接続した。または、接続していた別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9をはずした。 → 時計を設定し直す（12ページ）。
音が出ない	ボリュームが小さい。 → VOLUME ＋を押す。
	ヘッドホンを差したままになっている。 → ヘッドホンを抜く。
	スピーカーが正しく接続されていない。 → スピーカーコードを正しく接続し直す（9ページ）。
音がおかしい	左右のスピーカーの高さ、距離が極端に違う。 → 高さ、距離をできるだけ対称にする。
	付属のスピーカー以外のスピーカーをつないでいる。 → 付属のスピーカーをつなぐ。

症状	原因と対応のしかた
雑音が多い	テレビやビデオなど、ノイズを出す機器の近くに設置している。 → 離れたところに設置する。
	冷蔵庫など、ノイズを出す機器と同じ電源コンセントにつないでいる。 → 別の電源コンセントにつなぐ。 → 電源ラインのノイズフィルター（市販）を使用する。
タイマーが設定できない	• 時計が設定されていない。 • 停電などにより、時計の設定が解除された。 • 別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9を接続した。または、接続していた別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9をはずした。 → 時計を設定し直す（12ページ）。
タイマーが働かない	電源を切る前にタイマーが働くように設定していなかった。 → 時計/タイマーの選択ボタンを押して、表示窓に「◴PLAY」または「◴REC1～3」を点灯させる（51、53ページ）。
	誤った時間が設定されている。 → 設定内容を確認し、正しい時間を設定する（51、53ページ）。
	スリープタイマーが働いている。 → スリープタイマーを解除する（49ページ）。
リモコンで操作できない	リモコンと本体の間に障害物がある。 → 障害物を取り除く。
	リモコンと本体の距離が離れすぎている。 → 近寄って操作する。
	リモコンの発光部が本体の方を向いていない。 → リモコンを本体に向ける。
	リモコンの乾電池が消耗している。 → 乾電池（単3）を交換する。
	本体の近くにインバーター方式の蛍光灯がある。 → 本体と蛍光灯を離して設置する。
	別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9を接続していない状態で、MDS-SE9用のボタンを押した。 → 別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9を接続していないときは、押しても何も動作しません。別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9用のボタンについては、88ページを参照してください。
電源が自動的に切れる	スリープタイマーが働いている。 → スリープタイマーを解除する（49ページ）。
	DVDを再生中に一時停止またはDVDトップメニュー、DVDメニューを表示したままで約１時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

次のページへつづく

症状	原因と対応のしかた
電源が切れてI/⏻（電源）インジケーターが点滅している	保護回路が作動している。 ➔ 電源コードを抜いて本機の接続を確認し、しばらくしてから電源コードを入れ直す。 それでもI/⏻（電源）インジケーターが点滅するときは、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
時計、ラジオ局のプリセット、タイマー設定が初期化された	別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9を接続した。または、接続していた別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9をはずした。 ➔ 別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9を接続する、またははずすと、時計、ラジオ局のプリセット、タイマー設定がお買い上げ時の設定に戻ります。設定し直してください。

DVD・ビデオCD・CD・スーパーオーディオCD・MP3・JPEG

症状	原因と対応のしかた
「LOCKED」と表示され、ディスクが出てこない	ディスクが固定されている。 ➔ お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
ディスクが出てこない	レンタルディスクや中古ディスクなどで、シールなどからのりがはみ出したり、のりが付着したディスクを入れたため、ディスクが内部に貼り付いている、または貼りついたディスクが内部に落ちて挟まっている。 ➔ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
	ディスクを入れたまま、本機を移動するなどの振動を与えたため、ディスクが内部に挟まった。 ➔ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
	別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9をつないでシンクロ録音をしている。 ➔ ■を押してシンクロ録音を止めてから、本体の⏏DVDを押す。
再生が始まらない	ディスクが入っていない。 ➔ 本体の⏏DVDを押して、ディスクが入っているか確認する。
	ディスクの汚れ（油膜、指のあとなど）がひどい。 ➔ 汚れを拭き取る（79ページ）。
	ディスクの傷がひどい。 ➔ ディスクを交換する。
	再生しようとしているディスクが規格外の大きさ、形状、記録方式である（6ページ）。 ➔ ディスクを交換する。
	本機で再生できないディスクを入れている（6ページ）。 ➔ディスクを交換する。

症状	原因と対応のしかた
再生が始まらない	ディスクがずれて入っている。 → ディスクを正しく入れ直す。
	ディスクが裏返しに入っている。 → 印刷面を上にして、ディスクを入れ直す。
	本機内部のレンズ、または入れたディスクが結露している。 → ディスクを取り出してディスクの水分を拭き取り、本機の電源を入れたまま数時間待つ。
	ディスクが再生状態になっていない。 → SA-CD/DVD►を押し、再生状態にする。
	本機で再生できない地域番号のDVDを入れている。 → 地域番号に「All」または「2」が含まれているDVDのみ再生できます。
	カスタム視聴制限が働いている。 → カスタム視聴制限を解除する（35ページ）。
カスタム視聴制限を設定したのに暗証番号入力画面が表示されない	ハイブリッドディスクのスーパーオーディオCDで、異なるレイヤーにカスタム視聴制限を設定している。 → 制限をかけたい方のレイヤーで、カスタム視聴制限を設定する。
MP3が再生できない	ISO9660レベル1、レベル2、Joliet、マルチセッションに準拠して記録されていない。 → 準拠しているディスクを使用する。
	MP3（MPEG1 Audio Layer3）形式で記録されていない。 → 本機はMP3PROで記録されたファイルには対応していません。
	MP3ファイルに拡張子が付いていない。 → 記録した機器で拡張子「.MP3」を付ける。
	MP3ファイル以外に拡張子「.MP3」を付けている。 → MP3形式のファイルを使用する。
	設定画面の「視聴設定」の「データCD優先モード」で「JPEG」が選ばれている。 → ディスクを取り出して、「データCD優先モード」で「MP3」を選ぶ（29ページ）。
	ディレクトリレベルが8階層を超えている。 → サポートされるディレクトリの深さは、8階層までです。
	アルバムまたはトラック数が本機で再生できる数を超えている。 → 本機で再生できるアルバムの最大数は99、トラックの最大数は250までです。

次のページへつづく

症状	原因と対応のしかた
JPEGが再生できない	ISO9660レベル1、レベル2、Joliet、マルチセッションに準拠して記録されていない。 ➔ 準拠しているディスクを使用する。
	JPEGファイルに拡張子が付いていない。 ➔ 記録した機器で拡張子「.JPG」または「.JPEG」を付ける。
	JPEGファイル以外に拡張子「.JPG」または「.JPEG」を付けている。 ➔ JPEG形式のファイルを使用する。
	設定画面の「視聴設定」の「データCD優先モード」で「MP3」が選ばれている。 ➔ ディスクを取り出して、「データCD優先モード」で「JPEG」を選ぶ（29ページ）。
	ディレクトリレベルが8階層を超えている。 ➔ サポートされるディレクトリの深さは、8階層までです。
	アルバムまたはファイル数が本機で再生できる数を超えている。 ➔ 本機で再生できるアルバムの最大数は99、ファイルの最大数は250までです。
	JPEGファイルが本機に対応していない。 ➔ プログレッシブJPEG形式のファイルは再生できません。 ➔ 縦が1ドットまたは縦（横）が4720ドット以上のJPEG画像は再生できません。
MP3のアルバム/トラック名やJPEGのアルバム/ファイル名が正しく表示されない	名前にアルファベットと数字以外の文字が使われている。 ➔ 本機ではアルファベットと数字以外の文字は正しく表示されません。
音とびがする	ディスクの汚れ（油膜、指のあとなど）がひどい。 ➔ 汚れを拭き取る（79ページ）。
	ディスクの傷がひどい。 ➔ ディスクを交換する。
	再生しようとしているディスクが規格外の大きさ、形状、記録方式である（6ページ）。 ➔ ディスクを交換する。
	本機に振動が加わっている。 ➔ 振動のない場所（安定した台の上など）に設置してみる。 ➔ スピーカーと本機を離す、または別々の台の上に設置してみる。低音の効いた曲を大音量でお聞きになっている場合、スピーカーの振動により音とびしている可能性があります。
再生が1曲目から始まらない	プログラム再生、またはシャッフル再生になっている。 ➔ 停止中に再生モードボタンをくり返し押して、表示窓の「PGM」または「SHUF」を消し、ノーマル再生に戻す。
	リジューム再生になっている。 ➔ 停止中に、■を押してから再生を始める（16ページ）。
	自動的にタイトルメニュー、DVDメニュー、PBCのメニューの画面表示されるディスクが入っている。 ➔ メニューにしたがって、再生を進める。

症状	原因と対応のしかた
左右の音のバランスが悪い、または逆転している	スピーカーが正しく接続されていない。 ➔ スピーカーコードを正しく接続し直す（9ページ）。
ビデオCD、CD、MP3を再生したときに、音に奥行き感がなく、モノラルのように聞こえる	コントロールメニュー画面の「音声」で「1/L」または「2/R」が選ばれている。 ➔「音声」で「ステレオ」を選ぶ（27ページ）。

DVDのみ

症状	原因と対応のしかた
再生が自動的に始まる	自動的に再生が始まるDVDが入っている。 ➔ ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
再生が自動的に止まる	オートポーズ信号が記録されているDVDを再生している。 ➔ オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
ストップ、スキャン、スロー、リピート再生、シャッフル再生、プログラム再生などの操作ができない	操作を禁止しているDVDを再生している。 ➔ ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
希望する言語で画面表示されない	設定画面の「言語設定」の「画面表示言語」で希望する言語が選ばれていない。 ➔「画面表示言語」で希望の言語を選ぶ（29ページ）。
音声言語を変更できない	再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない、または音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している。 ➔ ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
字幕を変更できない	再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない、または字幕の変更を禁止しているDVDを再生している。 ➔ ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
字幕を消すことができない	字幕表示を消すことを禁止しているDVDを再生している。 ➔ ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
アングルを変更して見ることができない	再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。 ➔ DVDコントロールメニューのアングルアイコンが緑に点灯している場面で、アングルを切り換える（31ページ）。
	アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。 ➔ ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
DVD-RWが再生できない	VRモードで記録されている。 ➔ 本機ではVRモードで記録されたDVD-RWは再生できません。ビデオモードで記録されたDVD-RWは再生できます（6ページ）。

次のページへつづく

症状	原因と対応のしかた
映像が出ない	ファンクションが「DVD」または「VIDEO」になっていない。 ➔ FUNCTIONをくり返し押して、「DVD」または「VIDEO」に切り換える。
	映像接続コードのプラグがしっかり差しこまれていない。 ➔ 映像接続コードをしっかり接続し直す。
	映像接続コードが断線している。 ➔ 新しい映像接続コードと交換する。
	テレビの入力端子を間違えている。 ➔ 映像接続コードを正しく接続し直す（10ページ）。
	テレビの電源が入っていない。 ➔ 電源を入れる。
	テレビの入力切り換えで本機の映像が映るようにしていない。 ➔ テレビの説明書を見て、入力を切り換える。
	プログレッシブ（525p）方式に対応していないテレビとつないでいるときに、設定画面の「画面設定」の「コンポーネント出力」で「プログレッシブ」を選んでいる。 ➔ 本体のTUNERスティックを－（マイナス）方向に長押ししながら、DDSGとSOUND FIELD ＋を同時に押す。「コンポーネント出力」設定が「インターレース」に戻ります。
	プログレッシブ（525p）方式に対応しているテレビでも、設定画面の「画面設定」の「コンポーネント出力」で「プログレッシブ」を選ぶと映像が乱れることがある。 ➔「コンポーネント出力」を「インターレース」にする（32ページ）。
	設定画面の「画面設定」の「コンポーネント出力」で「プログレッシブ」が選択されている。 ➔「コンポーネント出力」を「インターレース」にする（32ページ）。「プログレッシブ」が選択されているときは、MONITOR OUT S VIDEO端子から映像は出力されません。
映像が乱れる	本機に振動が加わっている。 ➔ 振動のない場所（安定した台の上など）に設置してみる。
	ディスクに汚れ（油膜、指のあとなど）がひどい。 ➔ 汚れを拭き取る（79ページ）。
	ディスクの傷がひどい。 ➔ ディスクを交換する。
	本機の映像出力を、ビデオデッキを経由してテレビにつないでいると、一部のDVDプログラムに使用されているコピープロテクション信号が画質に悪影響を及ぼす可能性がある。 ➔ 本機をテレビに直接つなぐ。それでも画質に問題が生じる場合は、テレビのS映像入力端子へ接続してください（60ページ）。

症状	原因と対応のしかた
設定画面の「画面設定」の「TVタイプ」で設定した画像の形で再生できない	画像の形が固定されているDVDを再生している。 ➔ ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
	本機をS映像入力端子と直接つないでいない。 ➔ 本機をテレビに直接つなぐ。
	画像の形を変更できないテレビをつないでいる。 ➔ テレビに付属の説明書もあわせてご覧ください。
再生中に電源が切れる	一時停止またはDVDトップメニュー、DVDメニューを表示したままで約１時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

チューナー（ラジオ）

症状	原因と対応のしかた
雑音が入る/受信できない（「TUNED」または「ST」が点滅する）	放送局のバンド（FM/AM）、周波数が合っていない。 ➔ バンドと周波数を正しく設定する（42ページ）。
	アンテナが正しく接続されていない。 ➔ 正しく接続し直す（9ページ）。
	• アンテナが受信状態のよい場所に設置されていない。 • 電波が弱い。 ➔ 受信状態のよい場所（窓の外など）や方向を探し、設置し直す（10ページ）。 鉄筋、鉄骨造りのマンションなどの場合、付属のFM簡易アンテナでは十分に受信できない場合があります。窓の外に設置しても受信状態がよくならない場合は、市販の外部アンテナをつなぐことをおすすめします（64ページ）。
	アンテナの一部分を折りたたむ、束ねる、巻き取るなどしている。 ➔ 付属のFM簡易アンテナは全体で受信しているため、余分に感じる部分もそのまま垂らしておく（11ページ）。 ➔ 付属のFM簡易アンテナの先は、テープなどで壁にとめる（11ページ）。
	アンテナの一部分をスピーカーコードといっしょに束ねている。 ➔ スピーカーコードからできるだけ離す。
	付属のAMアンテナのアンテナ線がプラスチックスタンドからはずれている。 ➔ お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。
	電気器具の影響を受けている。 ➔ 電気器具の電源を切ってみる。

次のページへつづく

症状	原因と対応のしかた
ステレオにならない	モノラル受信の設定になっている。 ➔ FMモードボタンをくり返し押して「MONO」を消灯させる。
	AM放送を受信している。 ➔ 本機ではAM放送をステレオ受信しません。
	受信状態が悪い。 ➔ 症状「雑音が入る/受信できない」を参照し、アンテナの状態を確認する。
別売り機器のMDに録音中、ザーザーという雑音が周期的に入る	アンテナの設置位置が適切でない。 ➔ 雑音が消える位置までアンテナを動かす。

別売り機器

症状	原因と対応のしかた
音が出ない	本機が正しい状態になっていない。 ➔ 共通「音が出ない」を参照し、本機の状態を確認する。
	別売りの機器が正しく接続されていない。 ➔ 以下の点を確認しながら正しく接続し直す（60ページ）。 • 接続コード/ケーブルが正しい位置に接続されているか。 • 接続コード/ケーブルのコネクターがしっかり奥まで差し込まれているか。
	別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9が正しく接続されていない。 ➔ 別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9に付属の取扱説明書を見て、正しく接続し直す。
	つないだ機器の電源が入っていない。 ➔ 電源を入れる。
	つないだ機器での再生が始まっていない。 ➔ つないだ機器の取扱説明書を見て、再生を始める。
	正しいファンクションが選ばれていない。 ➔ FUNCTIONをくり返し押して正しいファンクションを表示させる（61ページ）。
音が歪む	VIDEO/SAT IN端子につないだ機器からのアナログ録音中に、規定以上の大きな信号が入ってきた。 ➔ FUNCTIONをくり返し押して「VIDEO」を表示させた後、MENU/NOを押して「SAT?」を表示させ、決定ボタンを押す（61ページ）。
レコードプレーヤーからの音が小さい	レコードプレーヤーを直接つないでいる。 ➔ つないでいるレコードプレーヤーに、イコライザーが内蔵されているか確認する。内蔵されていないときは、本機とプレーヤーの間に、イコライザー（別売り）をつなぐ。

これらの処置をしても正常に動作しないときは ― リセット

1 電源コードを抜く。
2 電源コードを入れる。
3 I/⏻を押して電源を入れる。
4 本体のDDSGとSOUND FIELD ＋を押すと同時に、SA-CD/DVDスティックでDVD■を選ぶ。

DVD以外の設定がリセットされてお買い上げ時の状態に戻ります。ラジオ局のプリセットや時計合わせ、タイマー設定をやり直してください。別売りのMD/カセットデッキMDS-SE9をつないでいるときにリセットすると、別売りのMD/カセットデッキMDS-SE9もお買い上げ時の状態に戻ります。

DVDの設定をお買い上げ時の状態*に戻すときは ― リセット

1 停止中にDVD設定ボタンを押す。
2 ▲/▼で「リセット」を選び、決定ボタンを押す。
3 ▲/▼で「はい」を選び、決定ボタンを押す。

リセットが完了するまで数秒かかります。リセット中はI/⏻（電源）を押して、電源を切らないでください。

* 視聴年齢制限は除く

メッセージ一覧

使用中、状況によって英語のメッセージを表示します。意味は以下の通りです。

DVD・ビデオCD・CD・スーパーオーディオCD・MP3・JPEG

メッセージ	原因と対応のしかた
Cannot Play	本機で再生できないディスクを入れている（6ページ）。 ➔ディスクを交換する。
	本機で再生できない地域番号のDVDを入れている。 ➔ 地域番号に「All」または「2」が含まれているDVDのみ再生できます。
Data Error	JPEGファイルが、本機で再生できない形式になっている。
DVD No Disc	ディスクが入っていない。
Eject	ディスク排出中に表示される。
No Disc	ディスクが入っていない。
Not in Use	使用できないボタンを押した。
PASSWORD	カスタム視聴制限/視聴年齢制限が働いている。 ➔ カスタム視聴制限/視聴年齢制限を解除する（35、37ページ）。
Play Limit	MP3ファイルが、本機で再生できない形式になっている。
Please Wait	ファンクションがDVDに切り換わっている。 ➔ しばらくお待ちください。
Push STOP!	再生中に再生モードボタンを押した。 ➔ 再生中は再生モードの変更はできない。■を押して再生を停止させてから、再生モードボタンを押す。
Reading	ディスクの情報を読み取っている。 ➔ 表示が消えるまで、しばらくお待ちください。
RESUME	リジューム再生が働いている状態で再生を停止した（16ページ）。
Step Full!	26曲（ステップ）以上プログラムしようとした。 ➔ 26曲以上はプログラムできない。不要な曲を消してから、プログラムし直す。

チューナー（ラジオ）

メッセージ	原因と対応のしかた
WAIT	ラジオへファンクションを切り換えている。

タイマー

メッセージ	原因と対応のしかた
OFF TIME NG!	タイマー設定で、終了時刻と開始時刻を同じに設定した。 ➔ 終了時刻を設定し直す。
OVERLAP!	タイマー設定またはタイマー録音設定が、他のタイマーの設定時刻の一部または全体と重なっている。 ➔ タイマーを設定し直す。
PUSH SELECT!	タイマー動作中に時計またはタイマーの設定を行おうとした。 ➔ タイマーを解除する（51、53ページ）。
SET CLOCK!	時計が設定されていない状態でタイマーを選択しようとした。 ➔ 時計を設定する。
SET TIMER!	タイマーが設定されていない状態でタイマーを選択しようとした。 ➔ タイマーを設定する。

使用上のご注意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。
- ぐらついた台の上や不安定な所。
- じゅうたんや布団の上。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ほこりの多い所。
- 直射日光が当たる所、温度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。

（チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。）

設置時のご注意

- オーディオ機器は、密閉した場所に置いて使用しないで、温度上昇を防ぐために風通しの良い所でお使いください。
- スピーカーの近くに磁気を発生するもの（健康器具、玩具など）を置くと、相互作用でテレビ画面に色むらが起こりやすくなります。設置場所にご注意ください。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている場所に、本体およびスピーカーなどを置くときは、変色、染みなどが残ることがあります。
- 本機の本体には、操作用のスティックが付いています。小さなお子様がいるご家庭では、お子様がつまずいて怪我をされないよう、設置場所には十分ご注意ください。

使用時の放熱について

- 使用中、本機の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 大音量で鳴らし続けると、本機キャビネットの天板や側板、底板、通風孔はかなり熱くなります。このようなときは、キャビネットなどに触れないようにしてください。火傷などのけがの原因になります。
  また、動作中の温度上昇を避けるために空冷ファンを搭載している機器では、大きな音を出したときなどにファンが回転します。ファンの通風孔付近を塞いで使用すると、機器の温度が上昇して故障の原因になります。
- 電源を切っているにもかかわらず、本機の天板があたたかくなることがありますが故障ではありません。電源コードがコンセントに差し込まれている限り、電源を切っているときでも本機の一部には電流が流れています。それらは、リモコンでの操作の待ち受けや、タイマー動作などのために使われています。

テレビの色むらについて

本機のスピーカーは防磁型（JEITA*）のため、テレビのそばで使うことができますが、テレビの種類により色むらが起こる場合があります。色むらが起きたら、いったんテレビの電源を切り、15〜30分後に再びスイッチを入れてください。それでも色むらが残る場合は、スピーカーをさらにテレビから離してください。

* 電子情報技術産業協会の略称です。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

DVDメニューやタイトルメニュー、ビデオCDのメニュー、本機の設定画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビではこの現象が起こりやすいのでご注意ください。

結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいてください。
結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約30分放置し、再び電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

移動時のご注意

- 必ずDVD、CDなどのディスクを取り出してください。中に入れたまま動かすと、取り出せなくなることがあります。
- 移動する前に、電源が切れ、すべての動作が終了していることを必ず確認してください。

ディスクの取り扱いかた

- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。
- 本機でお使いいただけるDVDやCDは、円形ディスクのみです。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いた後、乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは使わないでください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高音になるところには置かないでください。
- 中古ディスクやレンタルディスクで、シールなどののりがはみ出したり、付着しているディスクは使用しないでください。プレーヤー内部にディスクが貼り付いて取り出せなくなったり、プレーヤー本体の故障の原因となります。

お手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので、使わないでください。

クリーニングディスクについて

市販のCD/DVDレンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：CMT-SE3
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 故障したときに再生していたディスク：
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

主な仕様

本体（HCD-SE3）

アンプ部

実用最大出力　25W＋25W（JEITA* 6Ω負荷）
音声入力端子　（ANALOG）
VIDEO/SAT：250/450mV、47kΩ
MD/TAPE ：250/450mV、47kΩ（単体使用時）
：250mV、47kΩ（MDS-SE9接続時）
（DIGITAL OPTICAL）
MD、VIDEO/SAT：対応サンプリング周波数32kHz、44.1kHz、48kHz
音声出力端子　（ANALOG）
MD/TAPE：250mV
PHONES：ステレオ標準、8Ω以上
（DIGITAL OPTICAL）
MD：サンプリング周波数44.1kHz（CDのみ）
ビデオ入力端子
VIDEO/SAT：1.0Vp-p、75Ω
モニター出力端子（VIDEO）
最大出力レベル：1.0Vp-p、
負荷インピーダンス：75Ω同期負
モニター出力端子（S VIDEO）
最大出力レベル
輝度信号1.0Vp-p、負荷インピーダンス75Ω同期負
色信号0.286Vp-p、負荷インピーダンス75Ω終端
モニター出力端子（COMPONENT D2 VIDEO）
最大出力レベル
Y：1.0Vp-p、負荷インピーダンス75Ω同期負
CB/B-Y、CR/R-Y：0.7Vp-p、負荷インピーダンス75Ω終端

DVDプレーヤー部

形式　DVD/CD/スーパーオーディオCDプレーヤー
信号方式　JEITA*標準、NTSCカラー方式
周波数特性　DVD：2Hz～22kHz
CD：2Hz～20kHz
スーパーオーディオCD：2Hz～50kHz

チューナー部

受信周波数　FM：76～90MHz
AM：531～1,602kHz
アンテナ端子　FM：75Ω不平衡型F型
AM：外部アンテナ端子

スピーカーシステム（SS-CSE3）

方式　2ウェイバスレフ型、防磁型（JEITA*）
形状　コーン型 120mm
定格インピーダンス
6Ω
最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）
152×240×259mm
質量　約2.9kg

その他

電源　AC100V、50/60Hz
消費電力　55W：通常動作時（JEITA*）
0.3W以下：スタンバイ（節電モード）時
最大外形寸法（幅×高さ×奥行き、最大突起部含む）
155×120×345mm
質量　5.2kg
付属品　リモートコマンダー（1）
単3形乾電池（2）
映像接続コード（1）
FM用簡易アンテナ（1）
AMループアンテナ（1）
スピーカーパッド（8）
取扱説明書（1）
安全のために（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
保証書（1）

本機は「高調波ガイドライン適合品」です。

別売りアクセサリー
スピーカースタンドWS-MC1
本機に対応する別売りアクセサリーは、予告なく変更することがあります。詳しくはお買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

eco info
・待機時消費電力0.3W以下
・主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません
・主なはんだ付け部に無鉛はんだを使用
・キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません
・システムの本体キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません

言語コード一覧表

詳しくは27ページ、30ページをご覧ください。
言語名表記はISO639:1988（E/F）に準拠

コード	言語	コード	言語	コード	言語
1027	Afar	1245	Inupiak	1489	Russian
1028	Abkhazian	1248	Indonesian	1491	Kinyarwanda
1032	Afrikaans	1253	Icelandic	1495	Sanskrit
1039	Amharic	1254	Italian	1498	Sindhi
1044	Arabic	1257	Hebrew	1501	Sangho
1045	Assamese	1261	Japanese	1502	Serbo-Croatian
1051	Aymara	1269	Yiddish	1503	Singhalese
1052	Azerbaijani	1283	Javanese	1505	Slovak
1053	Bashkir	1287	Georgian	1506	Slovenian
1057	Byelorussian	1297	Kazakh	1507	Samoan
1059	Bulgarian	1298	Greenlandic	1508	Shona
1060	Bihari	1299	Cambodian	1509	Somali
1061	Bislama	1300	Kannada	1511	Albanian
1066	Bengali; Bangla	1301	Korean	1512	Serbian
1067	Tibetan	1305	Kashmiri	1513	Siswati
1070	Breton	1307	Kurdish	1514	Sesotho
1079	Catalan	1311	Kirghiz	1515	Sundanese
1093	Corsican	1313	Latin	1516	Swedish
1097	Czech	1326	Lingala	1517	Swahili
1103	Welsh	1327	Laothian	1521	Tamil
1105	Danish	1332	Lithuanian	1525	Telugu
1109	German	1334	Latvian; Lettish	1527	Tajik
1130	Bhutani	1345	Malagasy	1528	Thai
1142	Greek	1347	Maori	1529	Tigrinya
1144	English	1349	Macedonian	1531	Turkmen
1145	Esperanto	1350	Malayalam	1532	Tagalog
1149	Spanish	1352	Mongolian	1534	Setswana
1150	Estonian	1353	Moldavian	1535	Tonga
1151	Basque	1356	Marathi	1538	Turkish
1157	Persian	1357	Malay	1539	Tsonga
1165	Finnish	1358	Maltese	1540	Tatar
1166	Fiji	1363	Burmese	1543	Twi
1171	Faroese	1365	Nauru	1557	Ukrainian
1174	French	1369	Nepali	1564	Urdu
1181	Frisian	1376	Dutch	1572	Uzbek
1183	Irish	1379	Norwegian	1581	Vietnamese
1186	Scots Gaelic	1393	Occitan	1587	Volapük
1194	Galician	1403	(Afan)Oromo	1613	Wolof
1196	Guarani	1408	Oriya	1632	Xhosa
1203	Gujarati	1417	Punjabi	1665	Yoruba
1209	Hausa	1428	Polish	1684	Chinese
1217	Hindi	1435	Pashto; Pushto	1697	Zulu
1226	Croatian	1436	Portuguese		
1229	Hungarian	1463	Quechua	1703	無指定
1233	Armenian	1481	Rhaeto-Romance		
1235	Interlingua	1482	Kirundi		
1239	Interlingue	1483	Romanian		

用語解説

アルバム
MP3音声またはJPEG画像を記録しているデータCDの中の単位の1つ。

インターレース（飛び越し走査）
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示する方式で、従来のテレビの表示方式。奇数フィールドでは奇数番号の走査線、偶数フィールドでは偶数番号の走査線を交互に表示するようになっている。

インデックス（CD/スーパーオーディオCD）/ビデオインデックス（ビデオCD）
再生したい部分を見つけやすいように、1つのトラックをいくつかの部分に区切って番号を付けたもの。インデックスが記録されていないディスクもある。

視聴年齢制限（36ページ）
国・地域ごとの規制レベルに合わせて、視聴年齢制限に対応したディスクの再生を制限する、というDVDの機能。制限のしかたはDVDによって異なり、全く再生できない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し替えて再生する場合などがある。

シーン
PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオCDで、メニュー画面や動画、静止画の区切りのこと。シーンごとに順に付けられた番号をシーン番号という。

スーパーオーディオCD
現行のCDなどに用いられているPCM方式とは異なるDSD（ダイレクトストリームデジタル）方式で記録された、新しい高音質オーディオディスクの規格。DSD方式は、CDの64倍にあたるサンプリング周波数で、1ビットの量子化の採用により、現行のCDをはるかに超える広い再生帯域と可聴帯域における十分なダイナミックレンジを確保し、原音をより忠実に再現する。

スーパーオーディオCDには、以下のような種類がある。
- スーパーオーディオCD（シングルレイヤーディスク）
  HD（ハイデンシティ）レイヤー（スーパーオーディオCD用の高密度信号層）単層のみのディスク。
- スーパーオーディオCD（デュアルレイヤーディスク）
  長時間再生を可能にした、HDレイヤーが2層になっているディスク。2層構成になっているが片面読み出しのため、ディスクを裏返す必要はない。
- スーパーオーディオCD+CD（ハイブリッドディスク）
  HDレイヤーとCDレイヤーとが2層になったディスク。2層構成になっているが片面読み出しのため、ディスクを裏返す必要はない。また、CDレイヤーの内容は通常のCDプレーヤーでも再生できる。
- 2チャンネル＋マルチチャンネルスーパーオーディオCDディスク
  スーパーオーディオCDのHDレイヤーに2チャンネルのエリアとマルチチャンネルのエリアの両方が記録されているディスク。

タイトル
DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（または1曲）にあたる。タイトルに順に付けられた番号をタイトル番号という。

地域番号（リージョンコード）（38ページ）
著作権保護を目的に設けられた制度。販売地域によって、DVDプレーヤーやDVDディスクには地域番号が割り当てられていて、プレーヤー本体やディスクのパッケージに、それぞれの地域番号が表示されている。プレーヤーとディスクの地域番号が一致していると再生できる。ALL の表示のあるディスクは、どのプレーヤーでも再生できる。なお、地域番号の表示がないDVDでも、地域制限されている場合がある。

チャプター

DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成される。チャプターに順に付けられた番号をチャプター番号という。チャプターが記録されていないディスクもある。

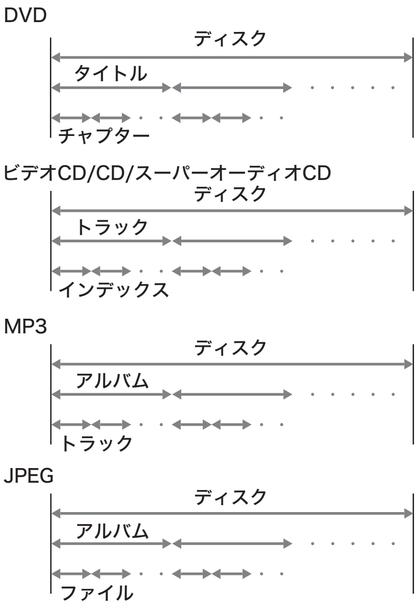
デジタルシネマサウンド（DCS）

映画館での迫力あるサウンドを家庭で楽しむために、ソニーがデジタル信号処理技術を駆使して開発したサラウンドサウンドの総称。音楽演奏用の空間をベースにした従来の音場再現と違い、あくまで映画を楽しむために開発された。

トラック

ビデオCD、CD、MP3、JPEGに記録されている映像や曲の区切り（1曲分）。トラックに順に付けられた番号をトラック番号という。

ディスクに関する用語の説明



ドルビーデジタル

ドルビーラボラトリーズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。5.1チャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。ドルビーデジタルシネマ音声方式のような高水準のデジタル音声を5.1チャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

ビデオCD

動画の記録されているCD。ビデオCDでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG1」（エムペグ1）を使うことにより、映像情報を平均約140分の1に圧縮している。これにより、12cmのディスクに最大74分までの動画を記録できる。また、音声情報についても、人間には基本的には聴こえない音声を圧縮して記録し、従来の音楽用CDと比較すると、音声情報も約6分の1に圧縮している。ビデオCDには、動画や音声の再生だけが可能なバージョン1.1と、高精細の静止画の再生やPBC（プレイバックコントロール）機能を持ったバージョン2.0がある。

ファイル

JPEG画像を記録しているデータCDの中の単位の1つ。

次のページへつづく

プレイバックコントロール（PBC）（ビデオCD）

ディスクのタイプによって、次の2種類の再生ができる。

- PBC対応でないビデオCD（バージョン1.1）
  音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（動画）を再生する。
- PBC対応ビデオCD（バージョン2.0）
  PBC対応でない場合に加え、テレビ画面に表示されるメニュー画面（選択画面）を使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生する（PBC再生、18ページ）。また、高精細の静止画も再生できる。

プログレッシブ（順次走査）（34ページ）

映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示するインターレース方式に対して、1フレームを1つの画像で表示する方式。従来のインターレース方式が1秒を30フレーム（60フィールド）で構成するのに対して、はじめから1秒を60フレームで構成するため、静止画や文字、横線の多い場面などで高品質な映像を再現できる。
本機は525プログレシッブ（525p）方式に対応しています。

マルチアングル

DVDの機能のひとつで、同じ場面が視点を変えて複数のアングル（カメラの位置）で記録されていること。

マルチランゲージ

DVDの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕が複数の言語で記録されていること。

D映像信号

D端子付きデジタルテレビと1本のケーブルで簡単にコンポーネント映像信号を接続できるため、より高画質な画像となる。D端子には対応する信号フォーマットによってD1、D2、D3、D4端子がある。

- D1端子：525i（480i）の信号に対応
- D2端子：525i（480i）と525p（480p）の信号に対応
- D3端子：525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）の信号に対応
- D4端子：525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）の信号に対応

本機はD2端子に対応しています。

* iはインターレース、pはプログレッシブの略。
  カッコ内の数字は有効走査線数で数えたときの別称。

DTS

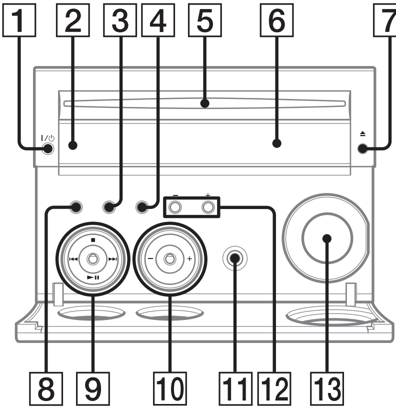
デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。5.1チャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。高水準のデジタル音声を5.1チャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

DVD

CDと同じ直径で最大8時間までの動画が記録できるディスク。
片面1層で4.7GB（GigaギガByteバイト）とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できる。
画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」（エムペグ2）を採用し、映像データを約1/40（平均）に圧縮して記録する。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されている。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめる。
またマルチアングル、マルチランゲージ、視聴年齢制限などさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができる。

各部のなまえ

本体



1 I/⏻（電源）スイッチ

2 リモコン受光部（11ページ）

3 FUNCTION（ファンクション）ボタン（15、61ページ）

4 DDSG（デジタルダイナミックサウンドジェネレーター）ボタン

5 ディスクスロット（14ページ）

6 表示窓

7 ⏏DVD（ディーブイディー）（ディスク取り出し）ボタン

8 DISPLAY（ディスプレイ）ボタン（54ページ）

9 SA-CD（スーパーオーディオシーディー）/DVD（ディーブイディー） スティック

■（停止）

⏮/⏭（前/次）

►II（再生、一時停止）

10 TUNER（チューナー）スティック

AM（エーエム）

FM（エフエム）

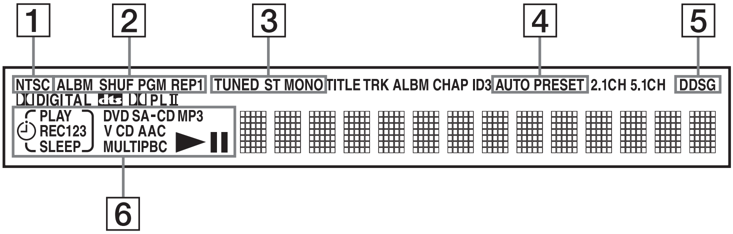
＋/－

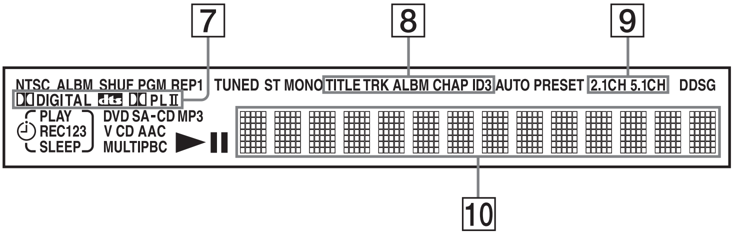
11 PHONES（ホーンズ）端子

12 SOUND（サウンド） FIELD（フィールド）＋/－ボタン（47ページ）

13 VOLUME（ボリューム）つまみ

表示窓





1 NTSC表示（5ページ）

2 ALBM表示（15、56ページ）
SHUF表示（15、56ページ）
PGM表示（15、22ページ）
REP/REP1表示（19ページ）

3 TUNED表示（42ページ）
ST表示（42ページ）
MONO表示（43、45ページ）

4 AUTO表示（42ページ）
PRESET表示（43ページ）

5 DDSG表示（48ページ）

6 タイマー表示
DVD表示
SA-CD表示
MP3表示
VCD表示
CD表示
AAC表示*
MULTI表示
PBC表示（18ページ）
►表示
II表示

7 Dolby Digital表示
dts表示
Dolby PL / Dolby PL II表示*

8 TITLE表示
TRK表示
ALBM表示
CHAP表示
ID3表示

9 2.1CH表示*
5.1CH表示*

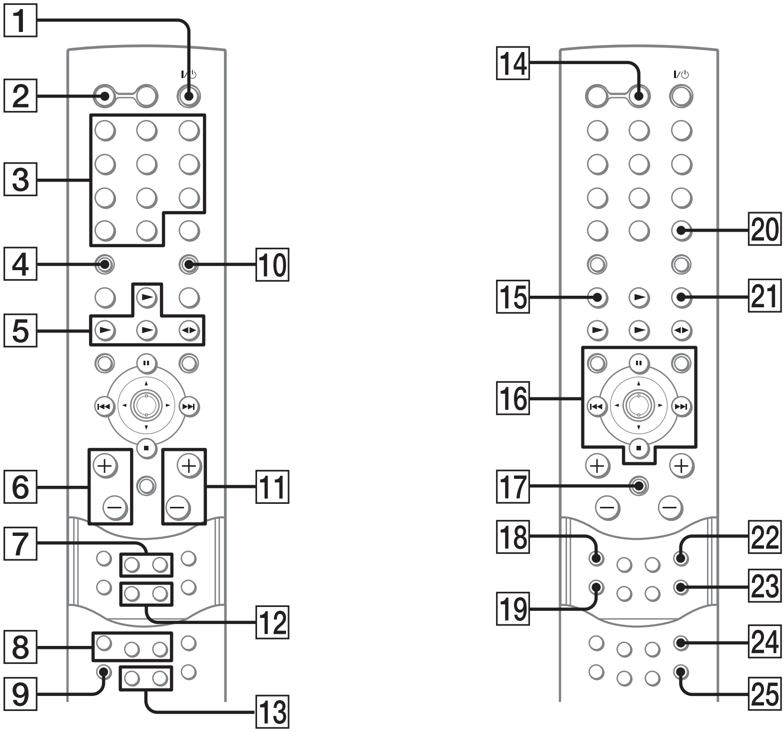
10 操作状況表示

* 本機では使用しません。

その他

次のページへつづく

リモコン



1 I/⏻（電源）スイッチ

2 SLEEPボタン（49ページ）

3 アルファベット/数字/カタカナ入力ボタン（17、32、44ページ）

4 MENU/NOボタン（42、61ページ）

5 PC►（再生）ボタン*1

SA-CD/DVD►（再生/セレクト）ボタン

MD►（再生）ボタン*1

TAPE◄►（再生）ボタン*1

6 SOUND FIELD＋/－ボタン（47ページ）

7 MDグループボタン*1

グループスキップボタン*1

8 アングルボタン（32ページ）

字幕ボタン（29ページ）

音声ボタン（28ページ）

9 DVD画面表示ボタン（20、27、58ページ）

10 NAME EDIT/SELECTボタン（45ページ）

11 VOLUME ＋/－ボタン（50ページ）

12 時計/タイマー用ボタン

選択ボタン（51ページ）

設定ボタン（12、50ページ）

13 トップメニューボタン（17ページ）

アルバム－ボタン（16ページ）

DVDメニューボタン（17ページ）

アルバム＋ボタン（16ページ）

14 DDSGボタン（48ページ）

15 TUNER BANDボタン（42ページ）

16 ◀◀/▶▶（早戻し/早送り）ボタン

◀Ⅰ/Ⅰ▶（スロー）ボタン

ⅠⅠ（一時停止）ボタン

Ⅰ◀◀/▶▶Ⅰ（前/次）ボタン

＋/－ボタン

■（停止）ボタン

▲/▼/◀/▶/決定ボタン

17 SPEAKER OUT MODEボタン*2

18 再生モード/チューニングモードボタン（15、42ページ）

19 FUNCTIONボタン（15、61ページ）

20 クリアボタン（21、46ページ）

21 PC LIBボタン*1

22 リピート/FMモードボタン（19、43ページ）

23 スクロールボタン（57ページ）

24 DVD設定ボタン（17、29ページ）

25 リターン↶ボタン（19、35ページ）

*1 別売りの専用MD/カセットデッキMDS-SE9をつないでいるときに使います。

*2 本機では使用しません。押しても何も動作しません。

索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

A-Z

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*……………………　0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*………03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX………………………………0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし, 内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

Printed in Korea

http://www.sony.co.jp/